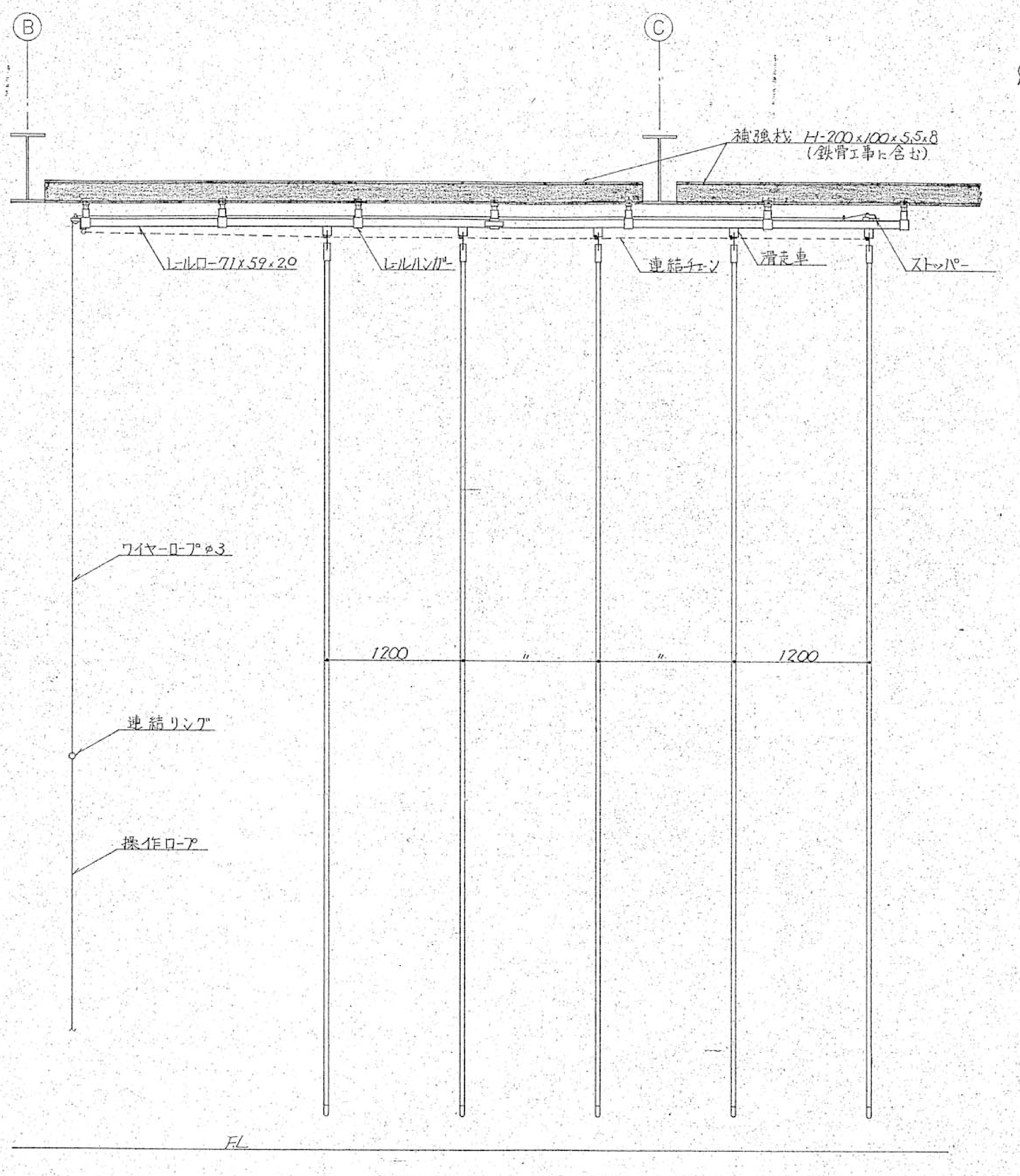
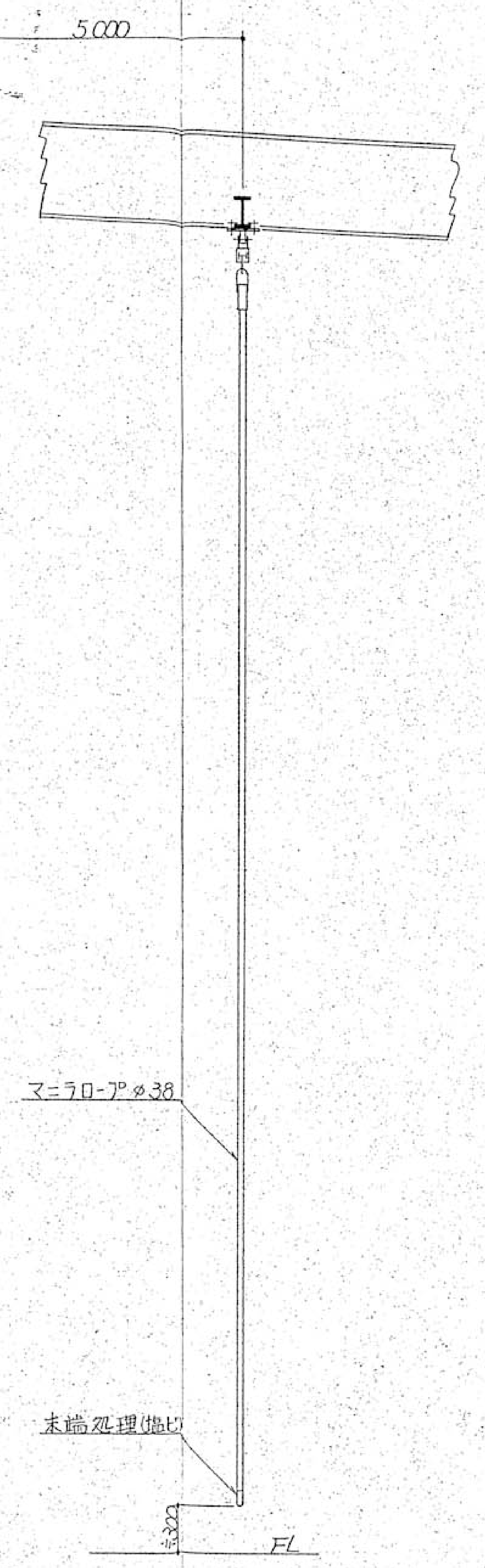
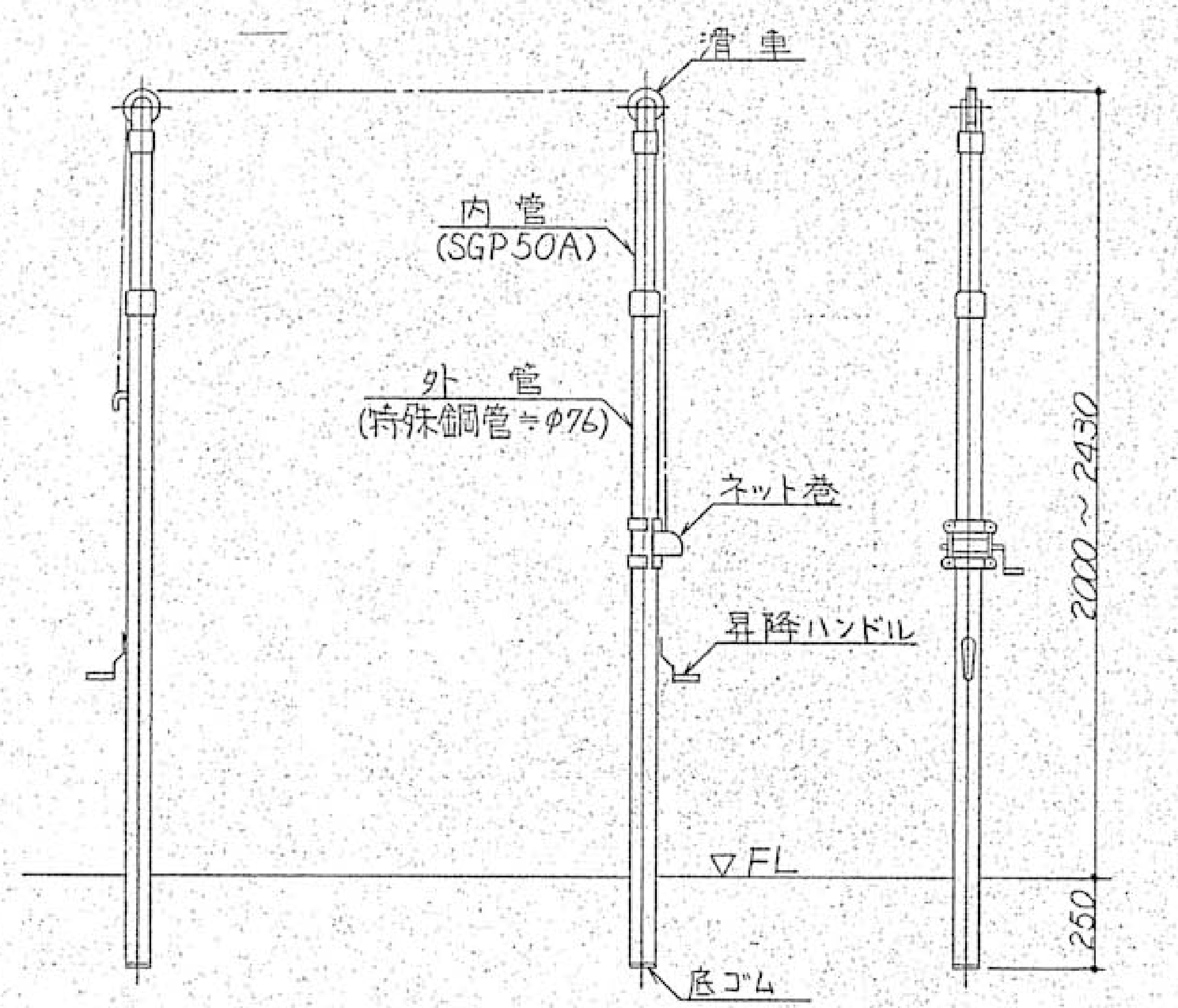

B
C
補強材 H-200×100×5.5×8
(鉄骨工事に含む)
レールロ-71×59×20
レールハンガー
連結チェーン
滑走車
ストッパー
ワイヤーロープφ3
1200
〃
〃
1200
連結リング
操作ロープ
FL

HC0102　吊縄　(直線レール収納式)　5本吊

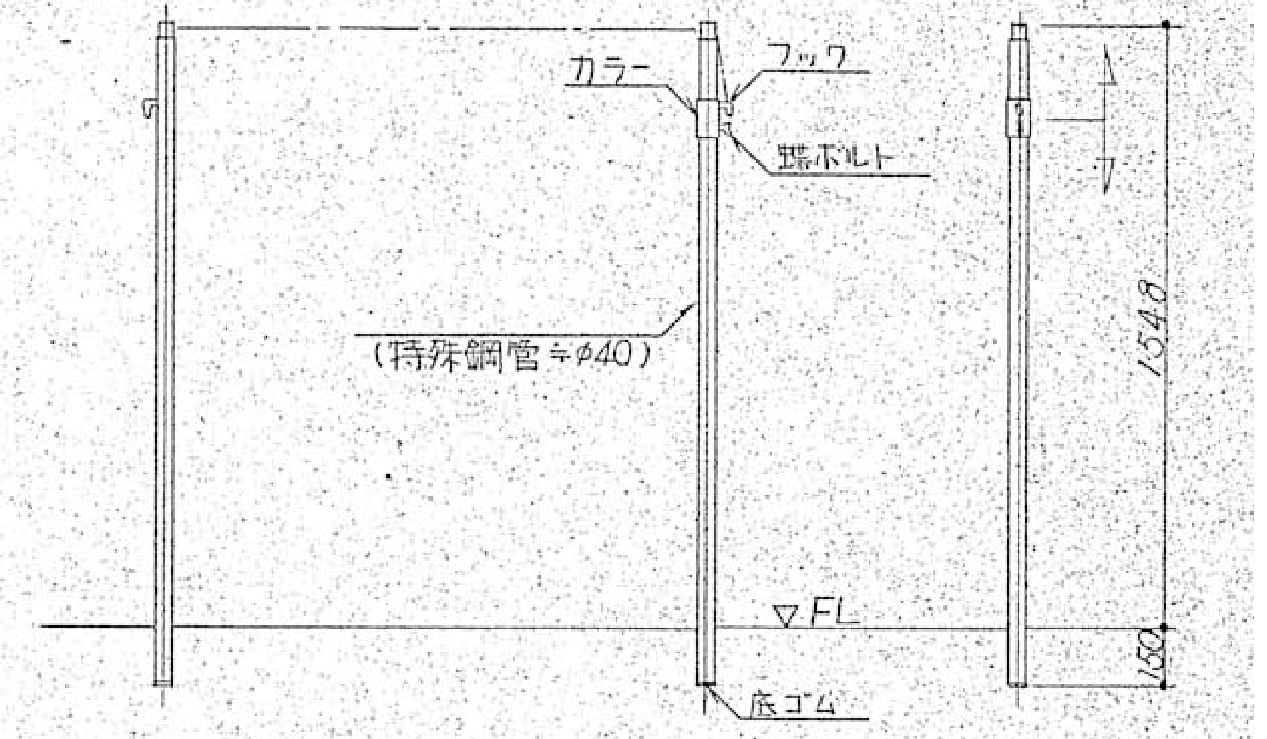

℄
5000
マニラロープφ38
末端処理(撚じ)
≒300
FL

DE1000 バレーボール用支柱 ベベルギアー式

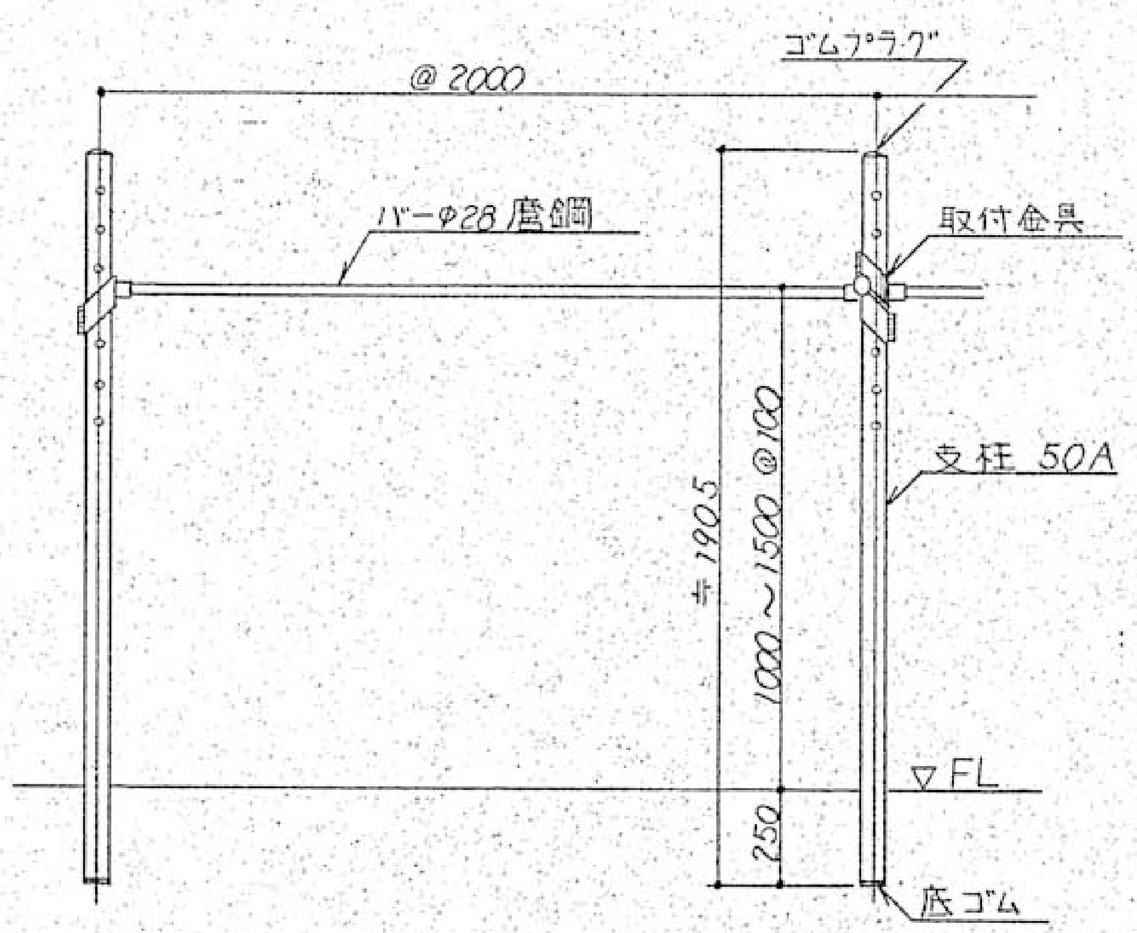

滑車
内管
(SGP50A)
外管
(特殊鋼管≒φ76)
ネット巻
昇降ハンドル
FL
底ゴム
2000～2430
250

DG0100 バドミントン用支柱 差込式

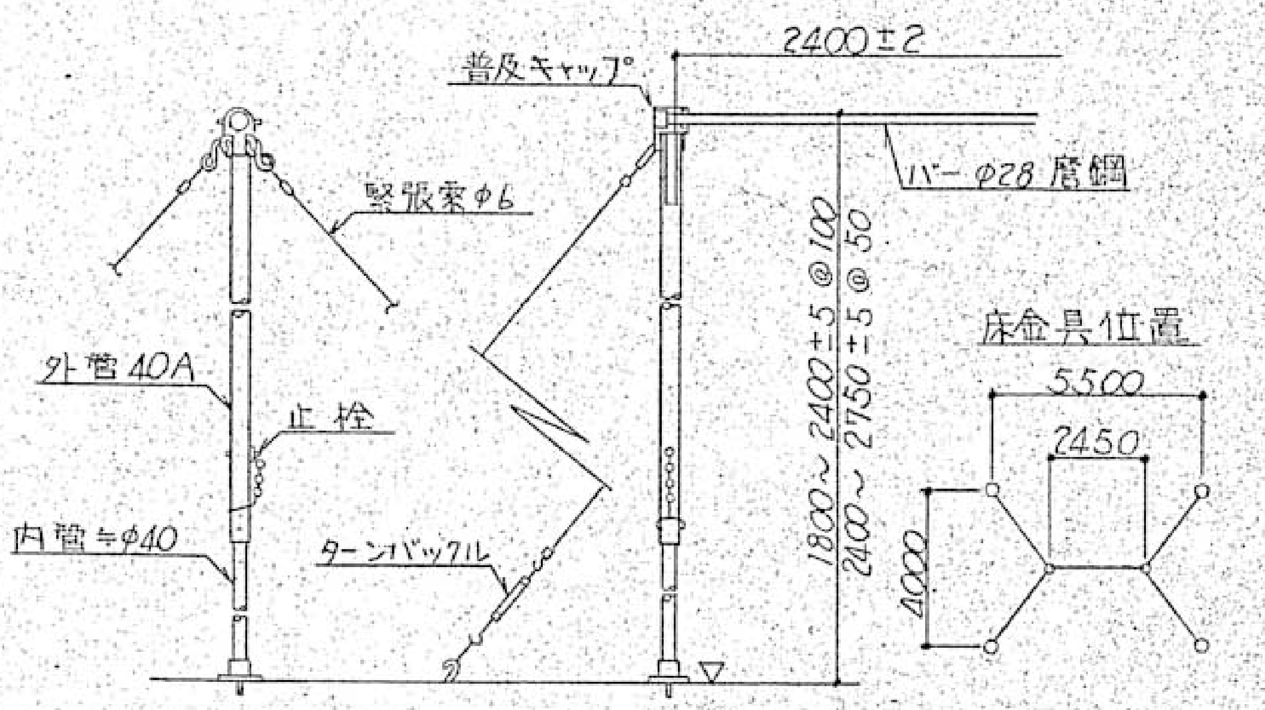
日本バドミントン協会検定品


カラー
フック
蝶ボルト
(特殊鋼管≒φ40)
FL
底ゴム
1548
150

AA2000 体育館用低鉄棒


ゴムプラグ
@2000
バーφ28 磨鋼
取付金具
支柱 50A
≒1905
1000～1500 @100
250
FL
底ゴム

AA0300 鉄棒 普及型

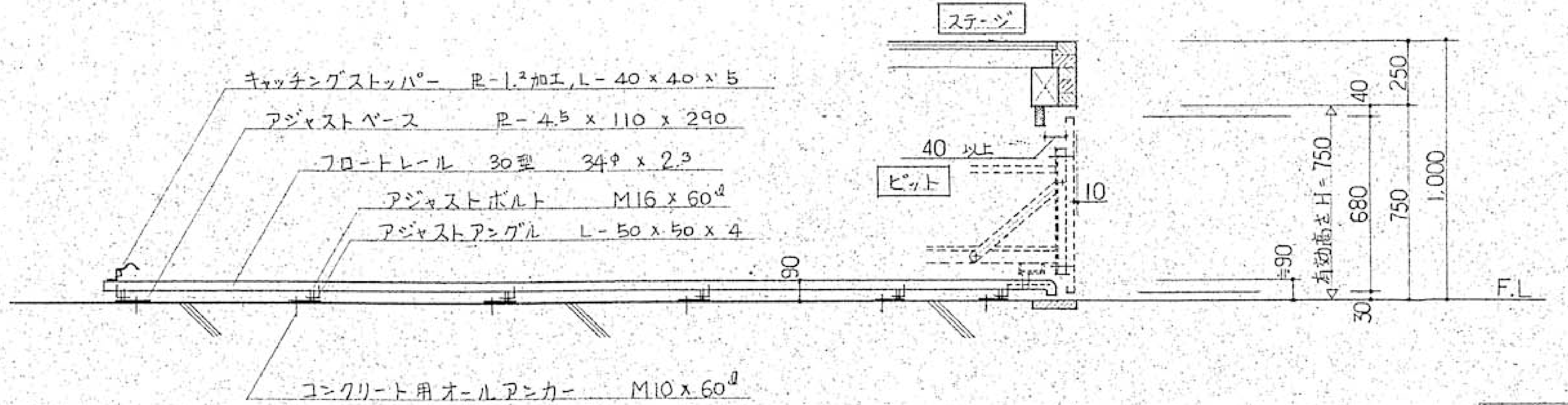

普及キャップ
2400±2
バーφ28 磨鋼
緊張索φ6
外管40A
止栓
内管≒φ40
ターンバックル
1800～2400±5 @100
2400～2750±5 @50
床金具位置
5500
2450
4000

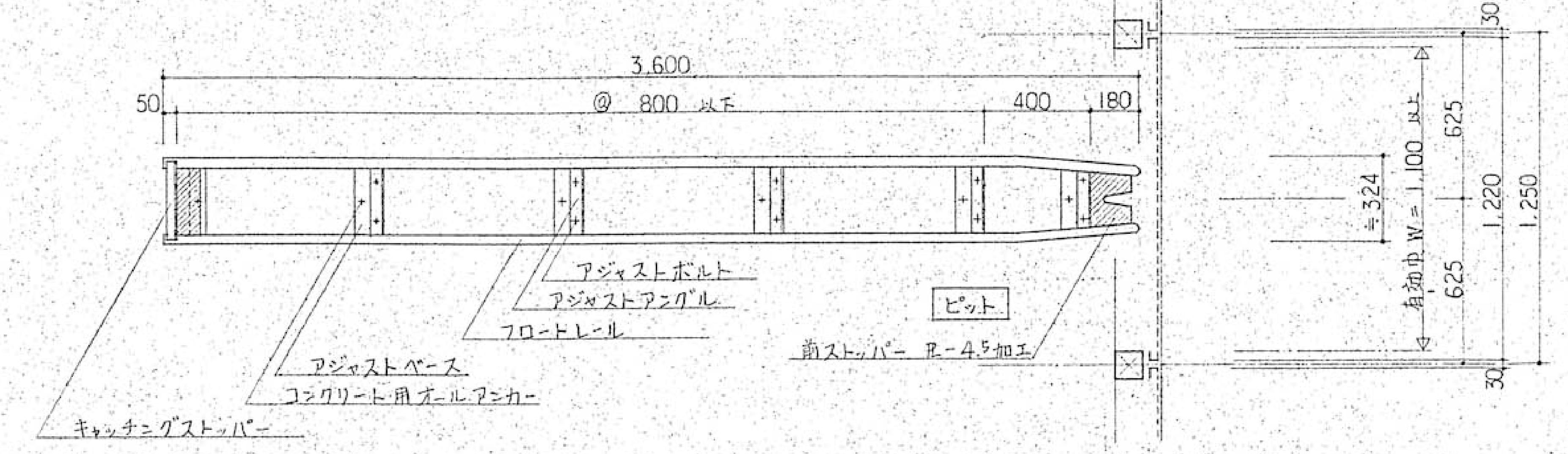
株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第1-2301-7840号
TEL 04(7093)7116 FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

Title
旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

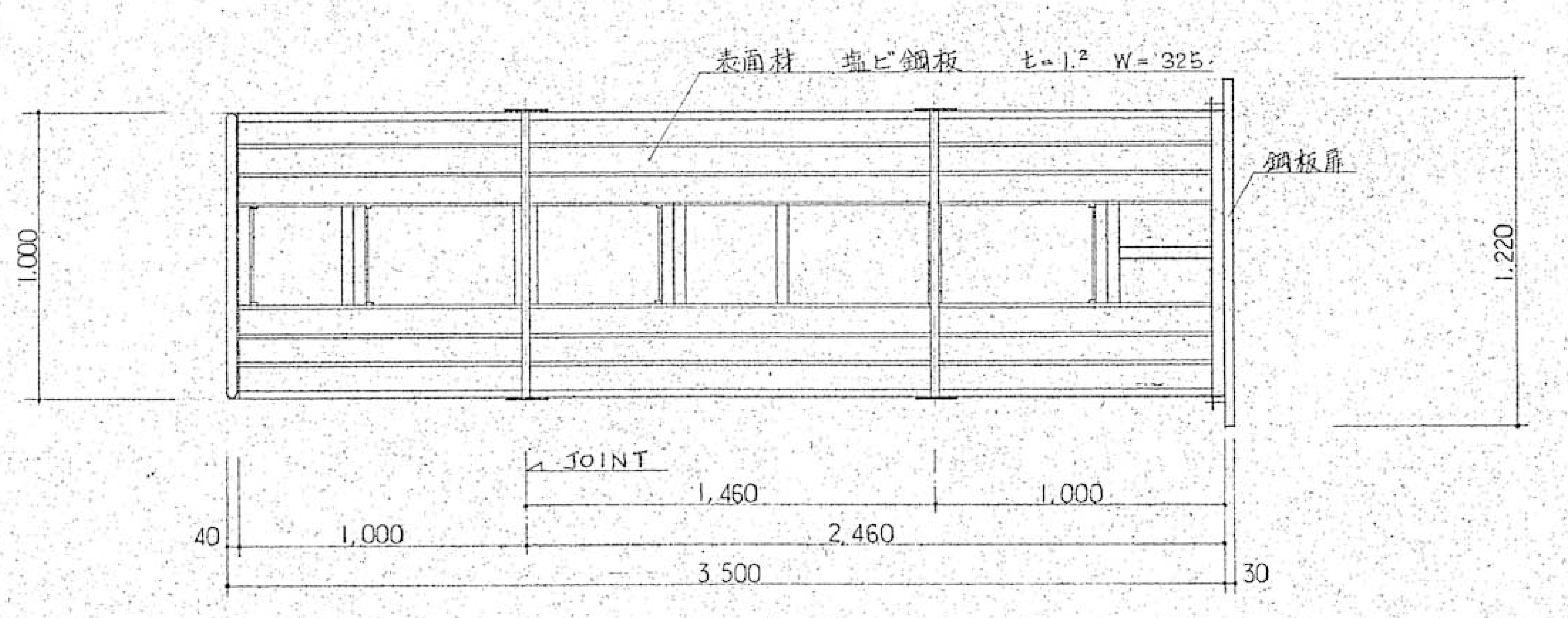
吊縄・鉄棒詳細図 S=1/30

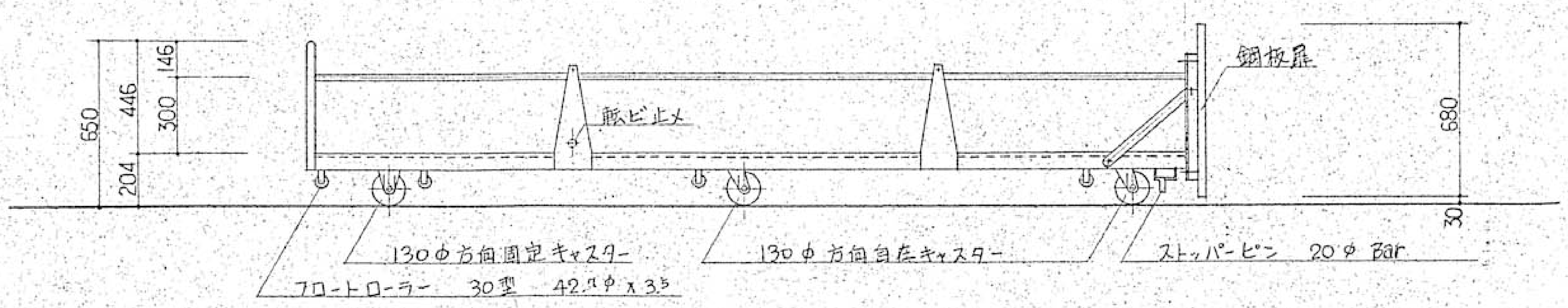
No. A－20


ステージ
キャッチングストッパー　R-1.2加工, L-40×40×5
アジャストベース　R-4.5×110×290
フロートレール　30型　34φ×2.3
アジャストボルト　M16×60ℓ
アジャストアングル　L-50×50×4
コンクリート用オールアンカー　M10×60ℓ
40 以上
ピット
10
90
250
40
有効高さ H=750
680
750
1,000
90
30
F.L

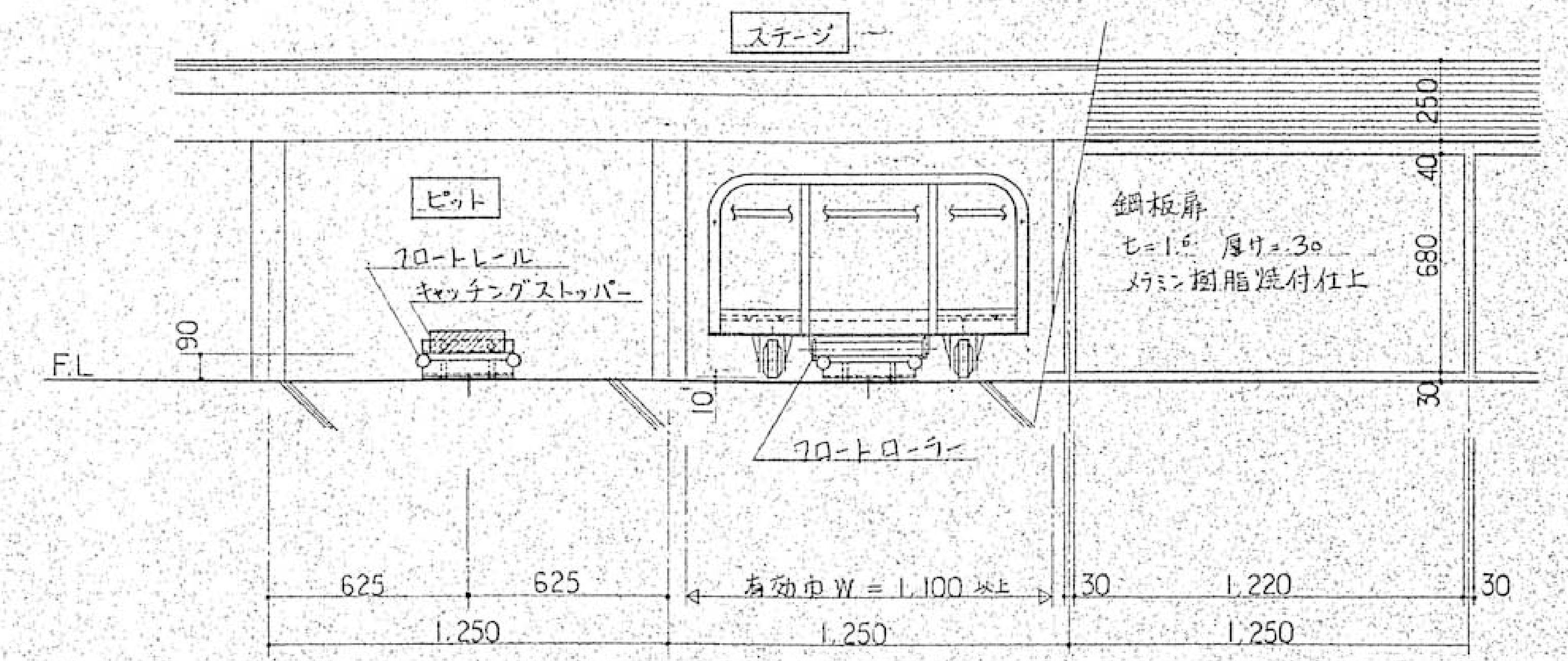

3,600
50
@ 800 以下
400
180
アジャストボルト
アジャストアングル
フロートレール
アジャストベース
コンクリート用オールアンカー
キャッチングストッパー
ピット
前ストッパー R-4.5加工
30
≒324
有効巾 W=1,100 以上
625
625
1,220
1,250
30

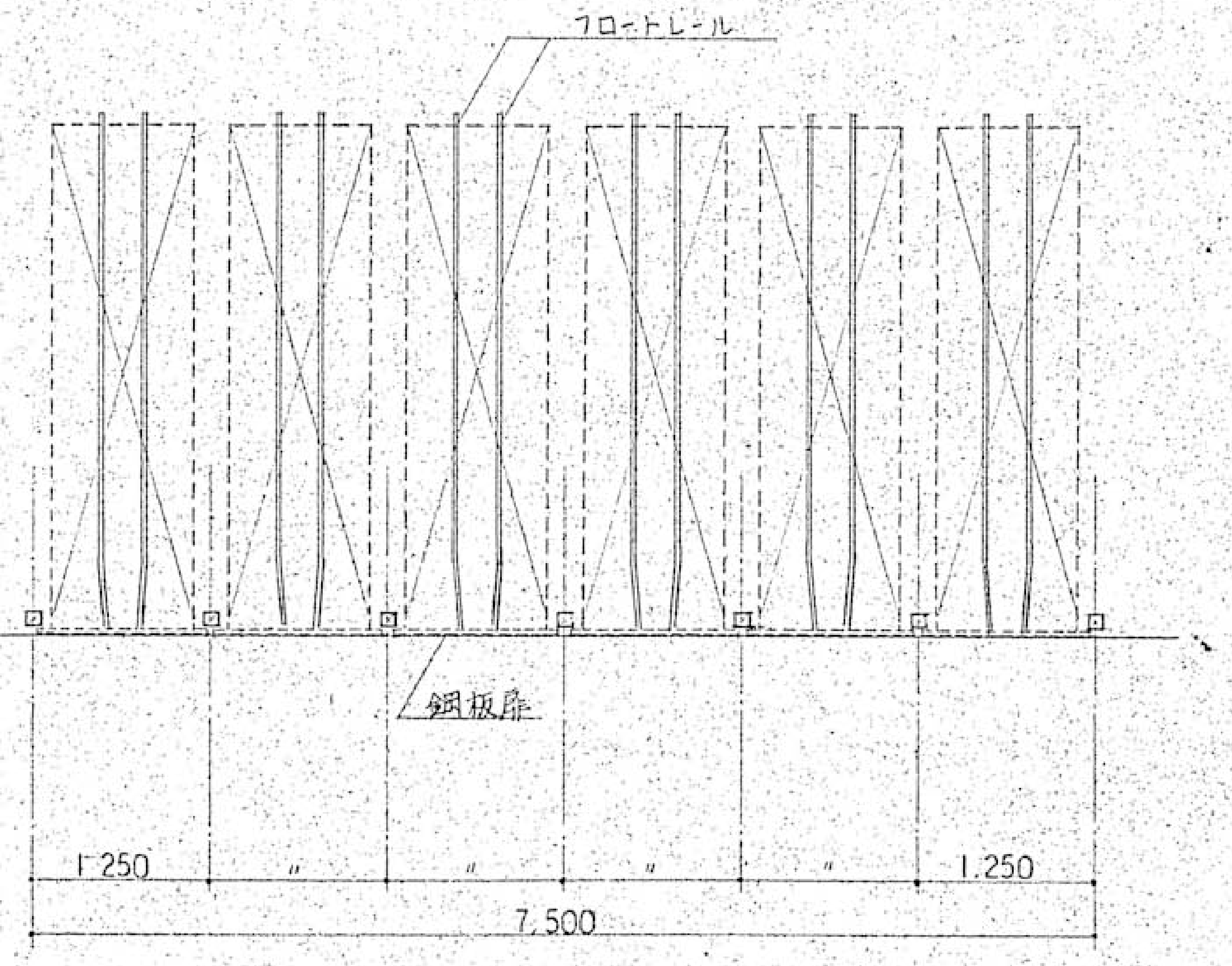
ピット詳細図 S=1:20


表面材　塩ビ鋼板　t=1.2　W=325
鋼板扉
1,000
1,220
JOINT
1,460
1,000
40
1,000
2,460
3,500
30


650
446
204
146
300
転ビ止メ
鋼板扉
680
30
130φ 方向固定キャスター
130φ 方向自在キャスター
ストッパーピン　20φ Bar
フロートローラー　30型　42.7φ×3.5

キャリア姿図 S=1:20


ステージ
ピット
フロートレール
キャッチングストッパー
鋼板扉
t=1.6　厚さ=30
メラミン樹脂焼付仕上
F.L
90
10
フロートローラー
250
40
680
30
625
625
有効巾 W=1,100 以上
30
1,220
30
1,250
1,250
1,250


フロートレール
鋼板扉
1,250
〃
〃
〃
〃
1,250
7,500

ステージ下ピット配置図 S=1:50

フロートキャリア台数

UK型（鋼板扉付）	1,000ʷ × 3,500ˡ × 650ʰ	6ピット ＝ 6台

イス収納脚数

イスサイズ　H 900 ㎜, W 460 ㎜, 厚さ 108（45）㎜ にて換算

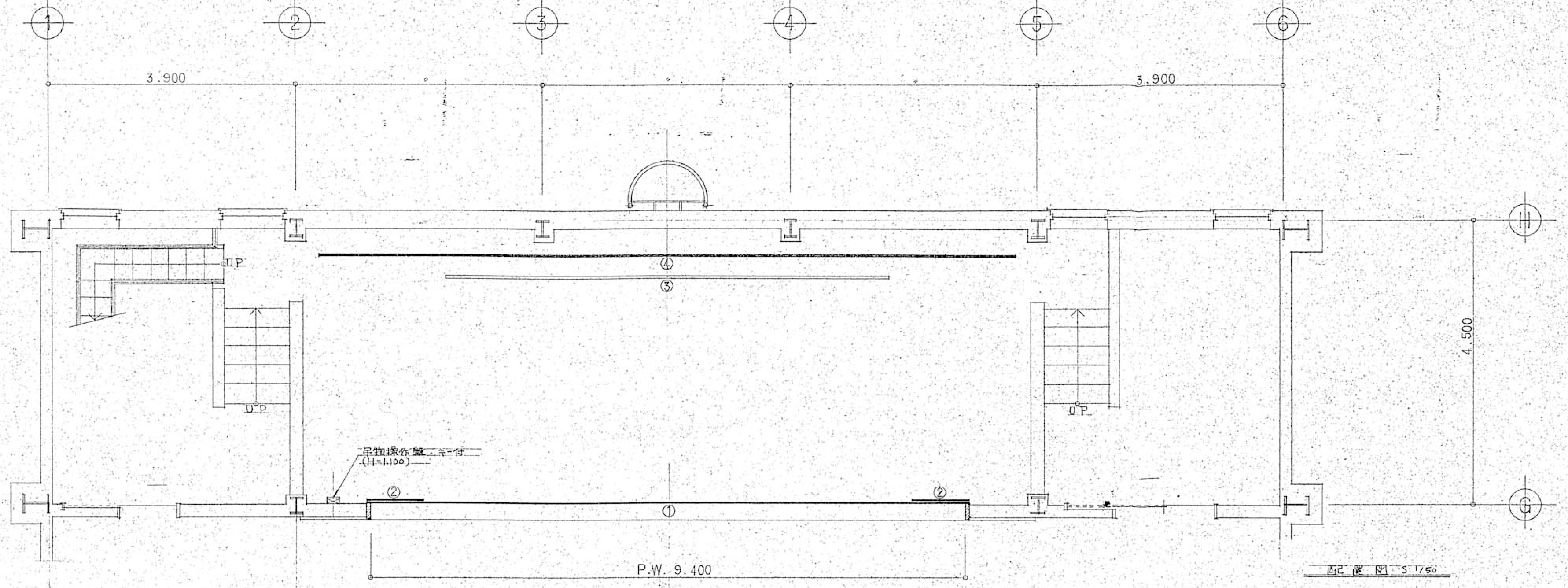
70 脚 × 6 ＝ 420 脚収納

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第1-2301-7840号
TEL 04(7093)7116　FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士　第-284900-号　濱田 卓志

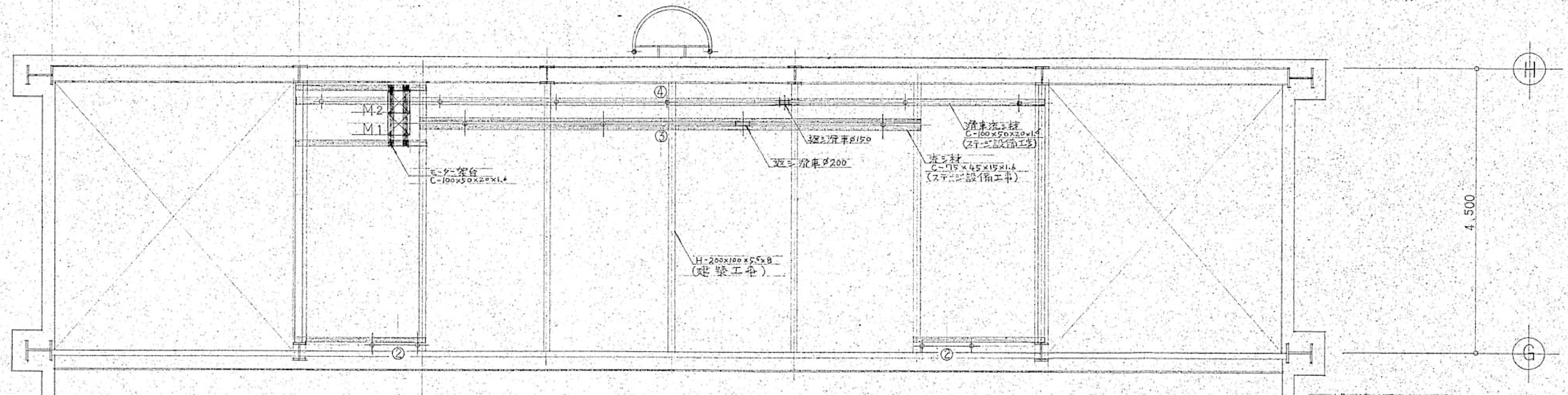
Title
旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

ステージ下ピット詳細図 S=1/50

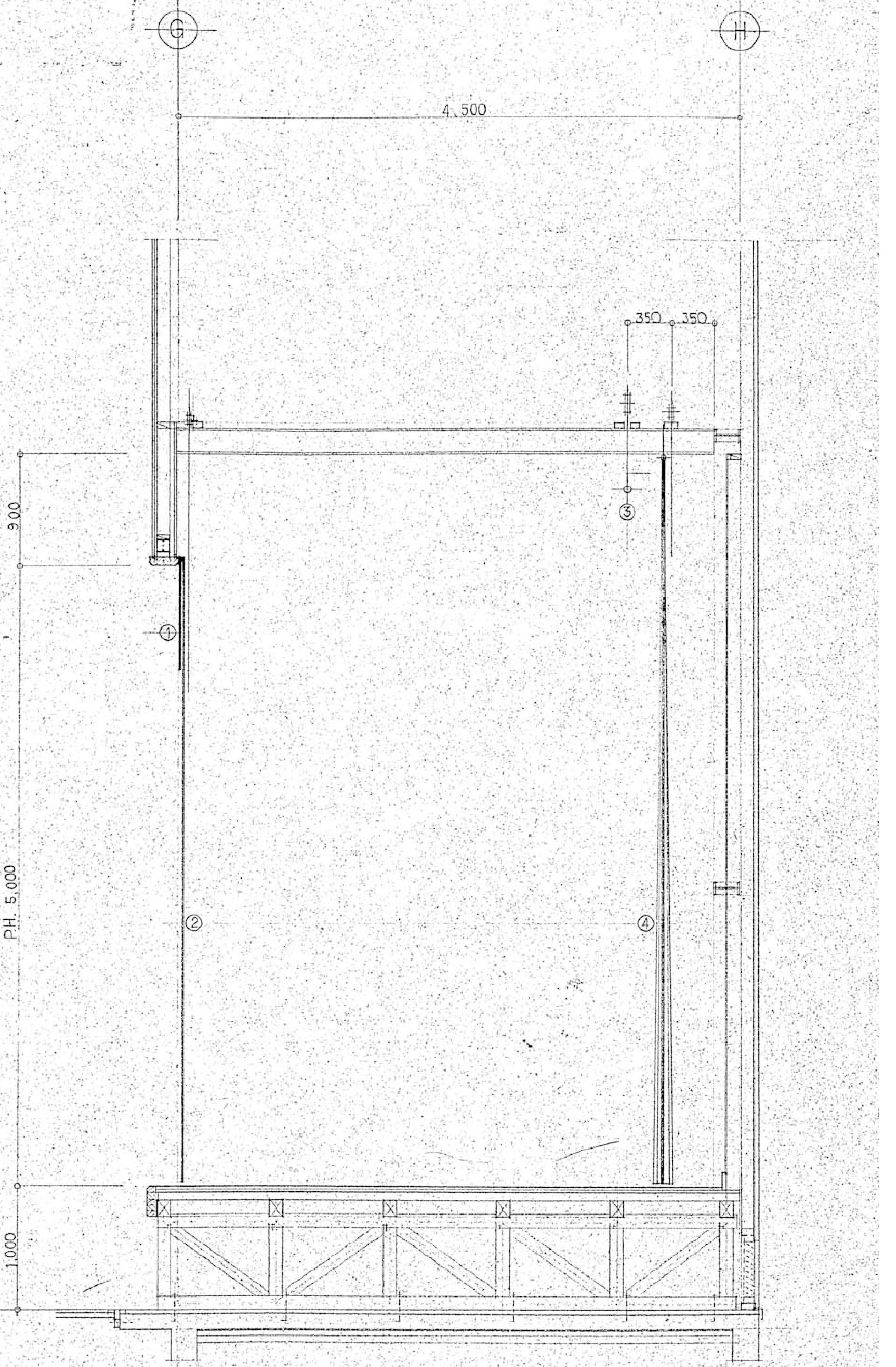
No. A-21


1
2
3
4
5
6
3.900
3.900
H
G
4.500
UP
UP
④
③
①
②
②
吊物操作盤：キー付
(H=1.100)
P.W. 9.400

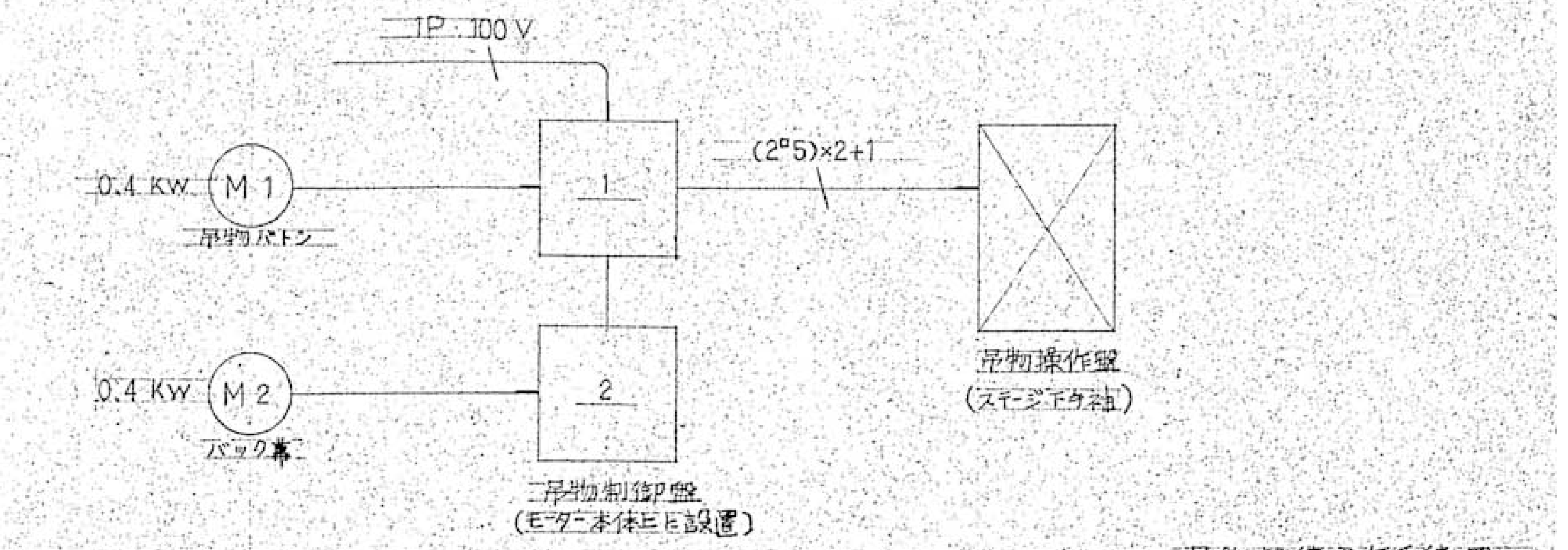
配置図 S:1/50


H
G
4.500
④
③
②
②
M2
M1
モーター架台
C-100×50×20×1.6
返シ滑車φ150
返シ滑車φ200
滑車流シ材
C-100×50×20×1.6
(ステージ設備工事)
流シ材
C-75×45×15×1.6
(ステージ設備工事)
H-200×100×5.5×8
(建築工事)

伏図 S:1/50


G
H
4.500
350
350
900
PH. 5.000
1.000
①
②
③
④

断面図 S:1/30


1P 100V
0.4 Kw
M 1
吊物バトン
0.4 Kw
M 2
バック幕
1
2
(2°5)×2+1
吊物制御盤
(モーター本体上に設置)
吊物操作盤
(ステージ下手袖)

吊物設備電気系統図

仕様表

NO.	名称	数	サイズ		作動方式	仕様	吊点
①	水引幕	1	W 9.600	H 900	クギ打固定	川島織物 パルコ：ウラ付・フレンジ ℓ=100・校章シシュウ(φ450)	
②	源氏幕	2	900	5.000	手動・ロープ昇降	〃 〃 〃 ℓ=150	4
③	吊物バトン	1	7.000		電動・昇降(ワイヤートラクション式)	バトンパイプ φ38.1　M1：トラクションマシーン：1P 100V×0.4KW	4
④	バック幕	1	11.000	5.800	〃・〃(〃)	川島織物 パルコ：ウラ無シ・ヒダ1.5倍　M2：〃：〃	7

特記事項

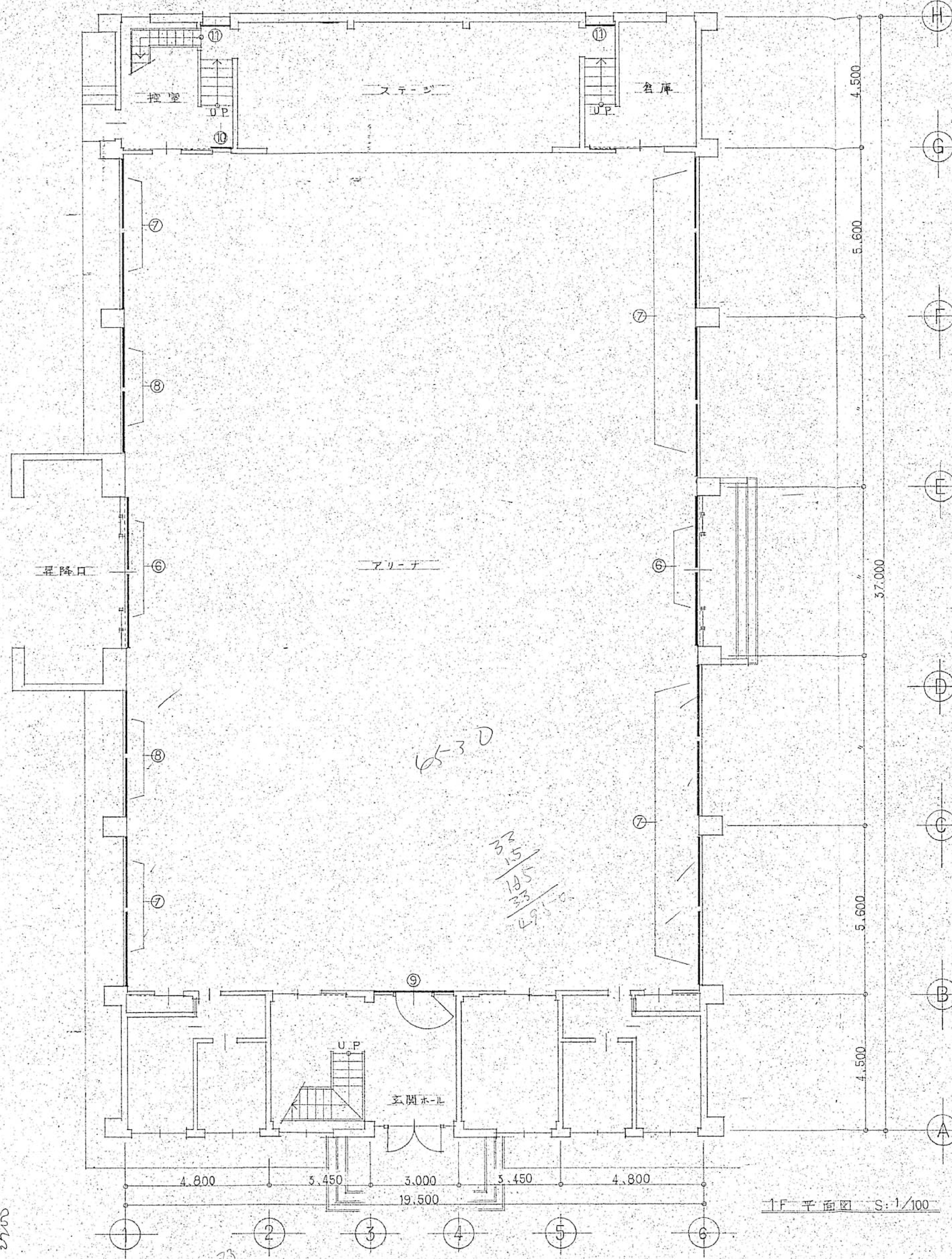
1) 幕類は防炎加工品とし認定ラベル(イ)を貼付する。
2) 滑車類はボールベアリング入りを使用する。
3) 2次側電気工事~~の内、配管・通線は別途工事とする。~~
4) 吊物操作盤はキー付とする。

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第1-2301-7840号
TEL 04(7093)7116 FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

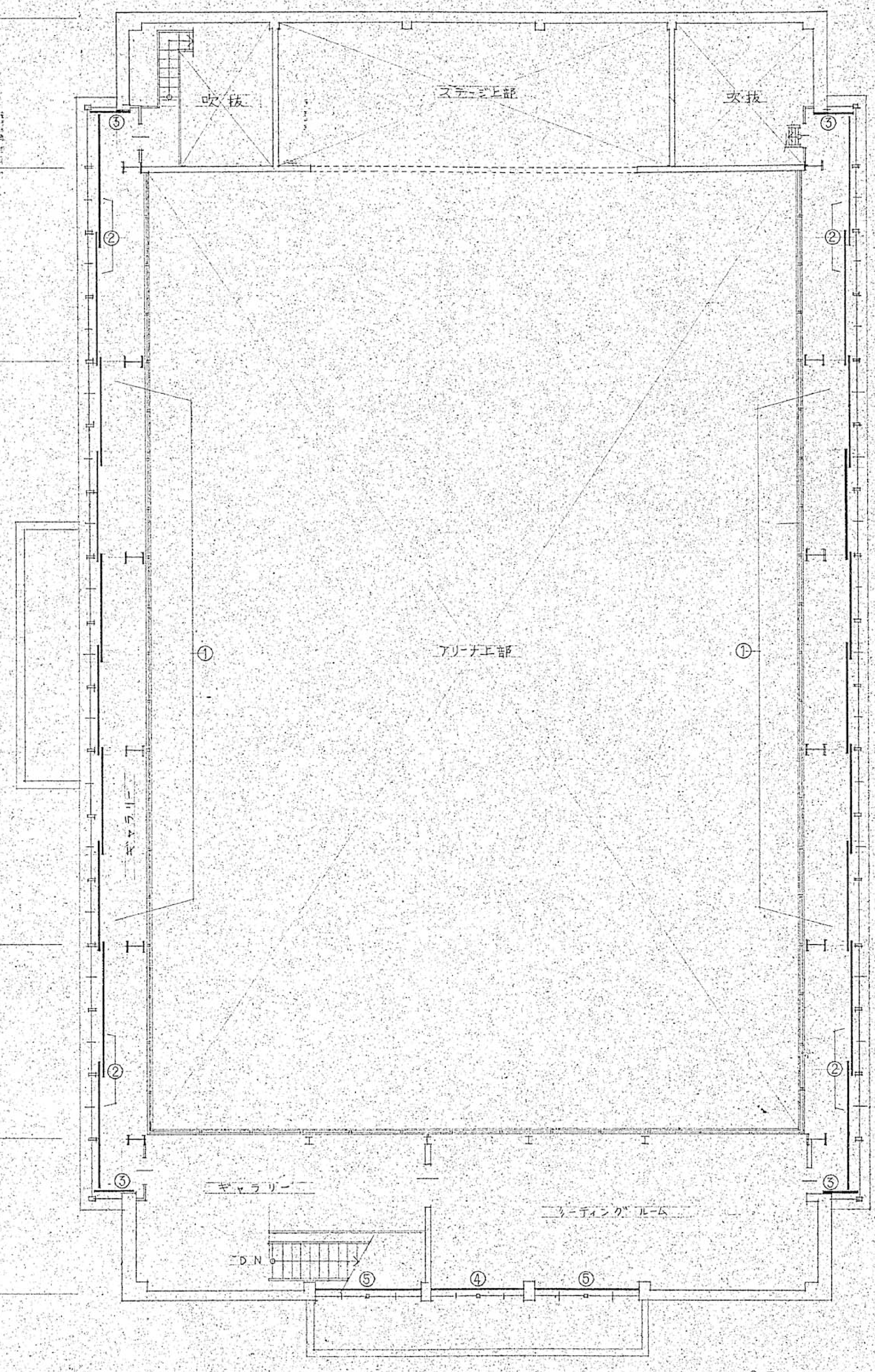
Title 旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

ステージ水引幕詳細図 S=1/30

No. A-22


ステージ
控室
倉庫
U.P
アリーナ
昇降口
玄関ホール
4,500
5,600
5,600
4,500
37,000
4,800
3,450
3,000
3,450
4,800
19,500
A
B
C
D
E
F
G
H
1
2
3
4
5
6
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
6530
3.3
1.5
16.5
3.3
49.5

1F 平面図 S:1/100


吹抜
ステージ上部
吹抜
アリーナ上部
ギャラリー
ギャラリー
ミーティングルーム
DN
①
②
③
④
⑤

2F 平面図 S:1/100

1F 暗幕仕様表

NO.	サイズ W	H	数	作動方式	暗幕仕様	レール仕様
⑥	2,800	2,400	4	手動・開閉	旭化成 マイレオン ・ヒダ 1.5～2倍	SM-NZ20型又はタチカワ-V20型
⑦	2,800	650	12	〃	〃	〃
⑧	2,300	650	4	〃	〃	〃
⑨	3,300	1,900	1	〃	〃	〃
⑩	1,000	450	1	〃	〃	〃
⑪	1,300	2,000	2	〃	〃	〃

特記事項
1) 幕類は防炎加工品とし、認定ラベル(イ)を貼付する。
2) タッセルは幕端部に縫付し、マジックテープ止めとする。

2F 暗幕仕様表

NO.	サイズ W	H	数	作動方式	暗幕仕様	レール仕様
①	3,300	4,800	12	ロープ引き・開閉	旭化成 マイレオン ・ヒダ 1.5～2倍	SM-NZ20型又はタチカワ-V20型
②	4,200	4,800	8	〃	〃	〃
③	1,200	4,800	4	〃	〃	〃
④	3,400	2,400	1	手動・開閉	〃	〃
⑤	4,000	2,400	2	〃	〃	〃

特記事項 （同左表） (注)①②③はロープ引きの為、タッセルは不用とする。

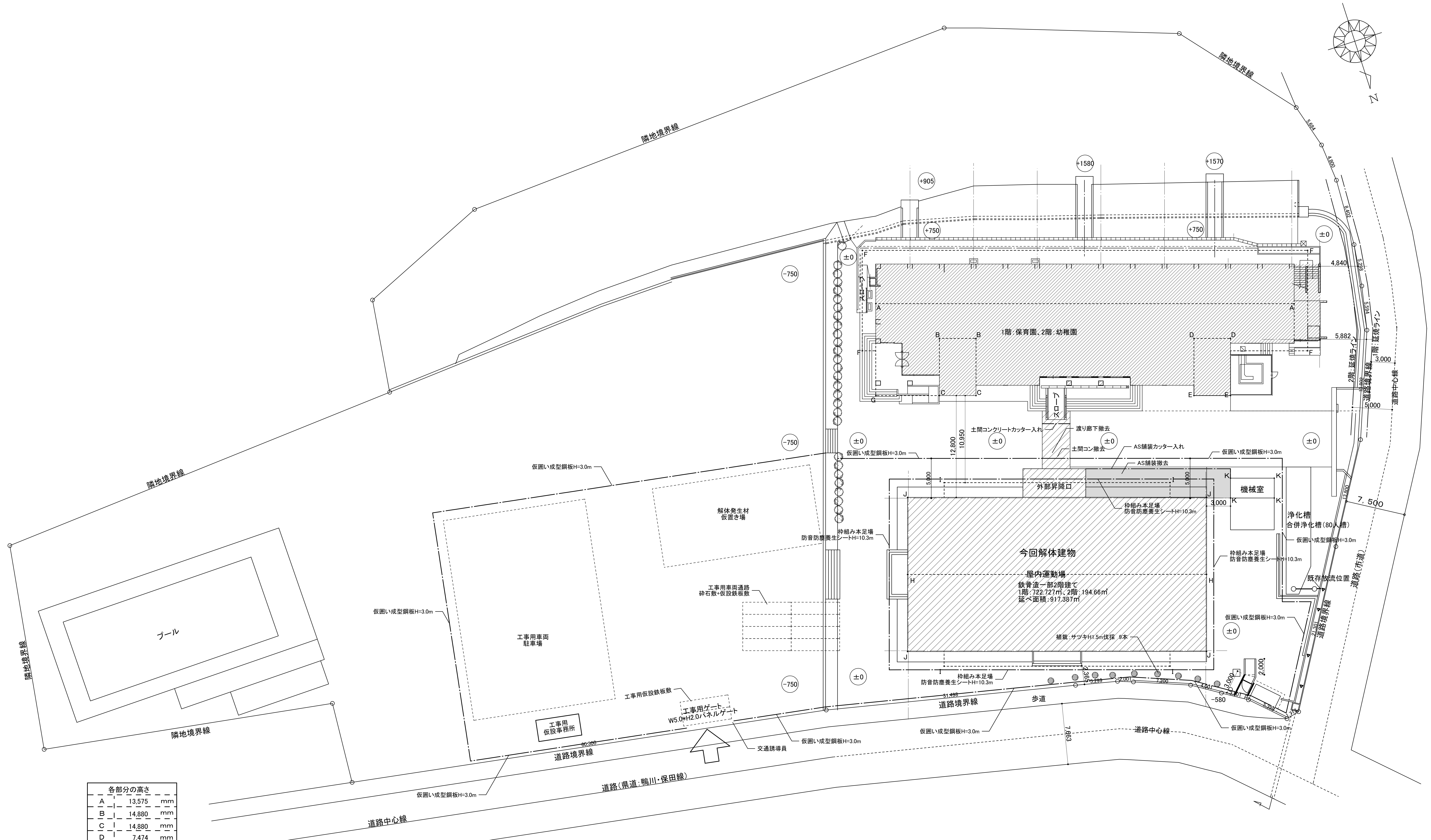
2700
1.5
1.35
2.7
4050

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第1-2301-7840号
TEL 04 (7093) 7116 FAX 04 (7093) 6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

Title 旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

暗幕詳細図 S=1/100

No. A－23


隣地境界線
隣地境界線
隣地境界線
隣地境界線
プール
+905
+1580
+1570
+750
+750
±0
−750
−750
−750
±0
±0
±0
±0
±0
±0
スロープ
スロープ
1階：保育園、2階：幼稚園
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
4,840
5,882
2階：延焼ライン
1階：延焼ライン
3,000
5,000
道路境界線
道路中心線
4,800
8,402
5,298
5,594
13,802
13,800
21,301
7, 500
12,800
10,950
5,000
3,000
2,000
土間コンクリートカッター入れ
渡り廊下撤去
土間コン撤去
AS舗装カッター入れ
AS舗装撤去
外部昇降口
機械室
浄化槽
合併浄化槽（80人槽）
今回解体建物
屋内運動場
鉄骨造一部2階建て
1階：722.727㎡、2階：194.66㎡
延べ面積：917.387㎡
植栽：サツキH1.5m伐採 9本
既存放流位置
道路（市道）
仮囲い成型鋼板H=3.0m
枠組み本足場
防音防塵養生シートH=10.3m
解体発生材
仮置き場
工事用車両通路
砕石敷+仮設鉄板敷
工事用車両
駐車場
工事用仮設鉄板敷
工事用
仮設事務所
工事用ゲート
W5.0*H2.0パネルゲート
交通誘導員
60,300
道路境界線
歩道
道路中心線
道路（県道：鴨川・保田線）
道路中心線
31,498
2,365
5,299
2,001
7,200
4,001
3,501
5,399
−580
7,663
N

各部分の高さ		
A	13,575	mm
B	14,880	mm
C	14,880	mm
D	7,474	mm
E	11,080	mm
F	12,330	mm
G	4,730	mm
H	10,300	mm
I	9,660	mm
J	10,300	mm
K	2,900	mm

仮設計画図 S=1/300

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所

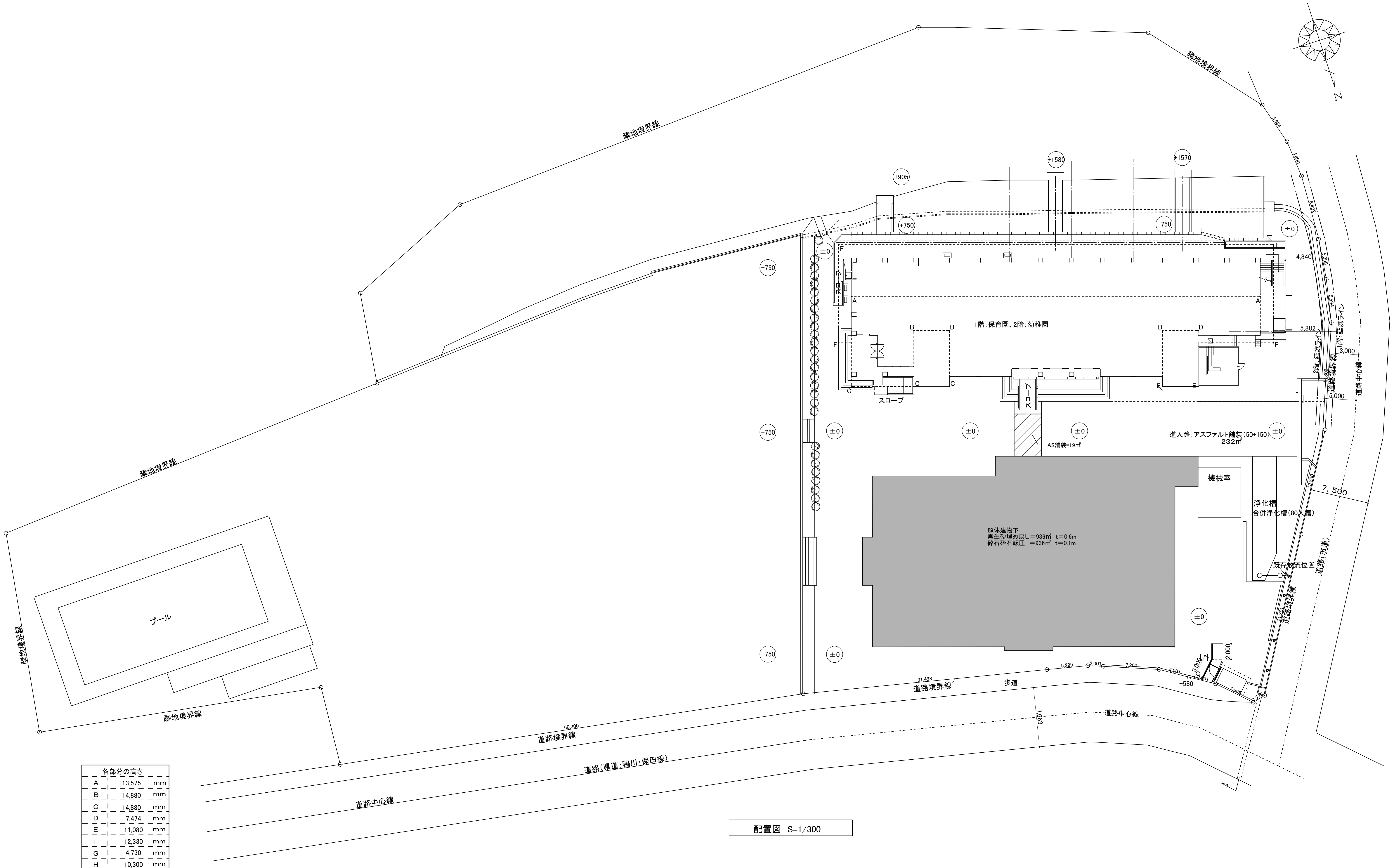
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第 1-2301-7840 号

TEL 04(7093)7116 FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

Title
旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

仮設計画図 S=1/300

No. A－24


N
隣地境界線
隣地境界線
隣地境界線
隣地境界線
隣地境界線
プール
+905
+1580
+1570
+750
+750
±0
−750
5,684
4,800
8,402
5,298
5,594
4,840
5,882
3,000
5,000
12,802
13,800
21,301
7, 500
2階:延焼ライン
1階:延焼ライン
道路境界線
道路中心線
スロープ
A
B
C
D
E
F
G
1階:保育園、2階:幼稚園
進入路:アスファルト舗装(50+150)
232㎡
AS舗装=19㎡
機械室
浄化槽
合併浄化槽(80人槽)
解体建物下
再生砂埋め戻し=936㎡ t=0.6m
砕石砕石転圧 =936㎡ t=0.1m
既存放流位置
道路(市道)
31,498
5,299
2,001
7,200
4,001
3,000
3,501
2,000
5,398
1,779
−580
歩道
60,300
7,663
道路(県道:鴨川・保田線)

各部分の高さ		
A	13,575	mm
B	14,880	mm
C	14,880	mm
D	7,474	mm
E	11,080	mm
F	12,330	mm
G	4,730	mm
H	10,300	mm
I	9,660	mm
J	10,300	mm
K	2,900	mm

配置図 S=1/300

凡例 （数字） ── 地盤面のレベルを表す

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第1-2301-7840号
TEL 04(7093)7116 FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

Title
旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

完成図 S=1/300

No. A－25

配筋規準図

本規準図と設計図との相違がある場合は設計図を優先する。 本規準図に於てはD10を9φ、D13を13φ、D16を16φと交互に読み替える。

~~（社団法人）千葉建築家協会・千葉県建築設計監理協会~~

1.一 般 事 項

1-1 鉄筋の表示記号

鉄筋の断面表示は下表の記号による。

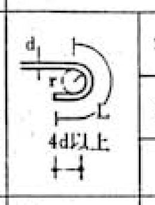
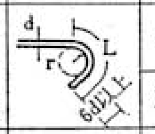
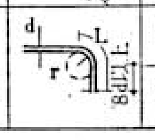
丸 鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	
異形丸鋼	D10	D13	D16	D19	D22	D25	
記 号	●	×	φ	●	○	⊙	

1-2 鉄筋の折曲げ

（注）1. dは鉄筋の公称直径
2. rは曲の内のり半径
3. Lはフック部分の長さ

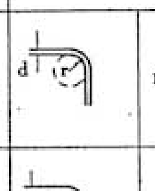
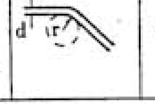
末端部

＊（ ）内はSD40の場合

曲げ角度	使用箇所	折曲げ図		普通コンクリート SR24	普通コンクリート SD30 SD35	普通コンクリート SD40	軽量コンクリート すべての鉄筋
180°	柱はりの13mm主筋および16mm以上の鉄筋		r	1.5d	2d	2.5d	2.5d (3.0d)
			L	11d	12d	14d	14d (16d)
135°	13mm以下の肋筋、帯筋及び幅止め筋		r	1.5d	2d	—	2.5d
			L	11d	12d	—	14d
90°	上記以外の13mm以下の鉄筋（スラブ、壁）		r	1.5d	2d	—	2.5d
			L	8d	8d	—	9d

中間部

2)は16mm以下を示し、19mm以上は3)による。
3)は28mm以下、異形鉄筋は25mm以下とする。

曲げ角度	使用箇所	折曲げ図		鉄筋の使用箇所による呼称	SR24	SD30 SD35
90°	はり、スラブ筋の定着		r	1)あばら筋、帯筋	1.5d	2d
				2)スラブ筋、壁筋	2.5d	3.0d
				3)1)、2)以外の鉄筋	3d	3d
90°未満	はり、スラブ筋の折曲げ		r	1)あばら筋、帯筋	1.5d	2d
				2)スラブ筋、壁筋	2.5d	2.5d
				3)1)、2)以外の鉄筋	3d	3d

1-3 鉄筋の継手及び定着の長さ

下記の表はFc=180～270kg/㎠（軽量はFc=180～240kg/㎠）とする。

	鉄 筋		応力または定着の状態 引張鉄筋S1	応力または定着の状態 小ばり下端S2	最少限長さ S3
普通コンクリート	SR24	フックつき	40d	30d	25d
		フックなし	——	——	——
	SD30	フックつき	30d	25d	15d
		フックなし	45d	35d	25d
	SD35	フックつき	35d	30d	25d
		フックなし	50d	40d	25d
軽量コンクリート	SR24	フックつき	35d	30d	30d
	SD30	フックつき	25d	25d	25d
		フックなし	40d	35d	35d
	SD35	フックつき	30d	30d	30d
		フックなし	45d	40d	40d

重ね継手の長さは上記S1に5dを加えたものとする。ただしSR24はS1とする。

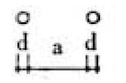
1-4 鉄筋のかぶり厚さ

（単位 cm）

構造部分の種別 ＼ コンクリートの種別			普通コンクリート	軽量コンクリート
土に接しない部分	床、耐力壁以外の壁	仕上げをしたもの	2	2
		仕上げをしないもの	3	3
	耐力壁、柱、はり	屋内、屋外で仕上げをしたもの	3	3
		屋外で仕上げをしないもの	4	4
土に接する部分		床、壁、柱、はり 耐力壁	4	5
		基礎、擁壁	6	7

（注）1.擁壁で土に接しない部分では4cmとする。
2.直接土に接する床、はり、および基礎のかぶり厚さには捨てコンクリートは含まれない。
3.屋外に面する打放しコンクリートなど耐久上不利な箇所のかぶり厚さは、特記がなければ上表の値より1cm増しとする。
4.仕上げをしたものとはモルタル、タイル貼り（陶器、磁器）その他耐体を耐久、耐火上保護するものをいう。
5.鉄筋径28mm以上は特記事項による。

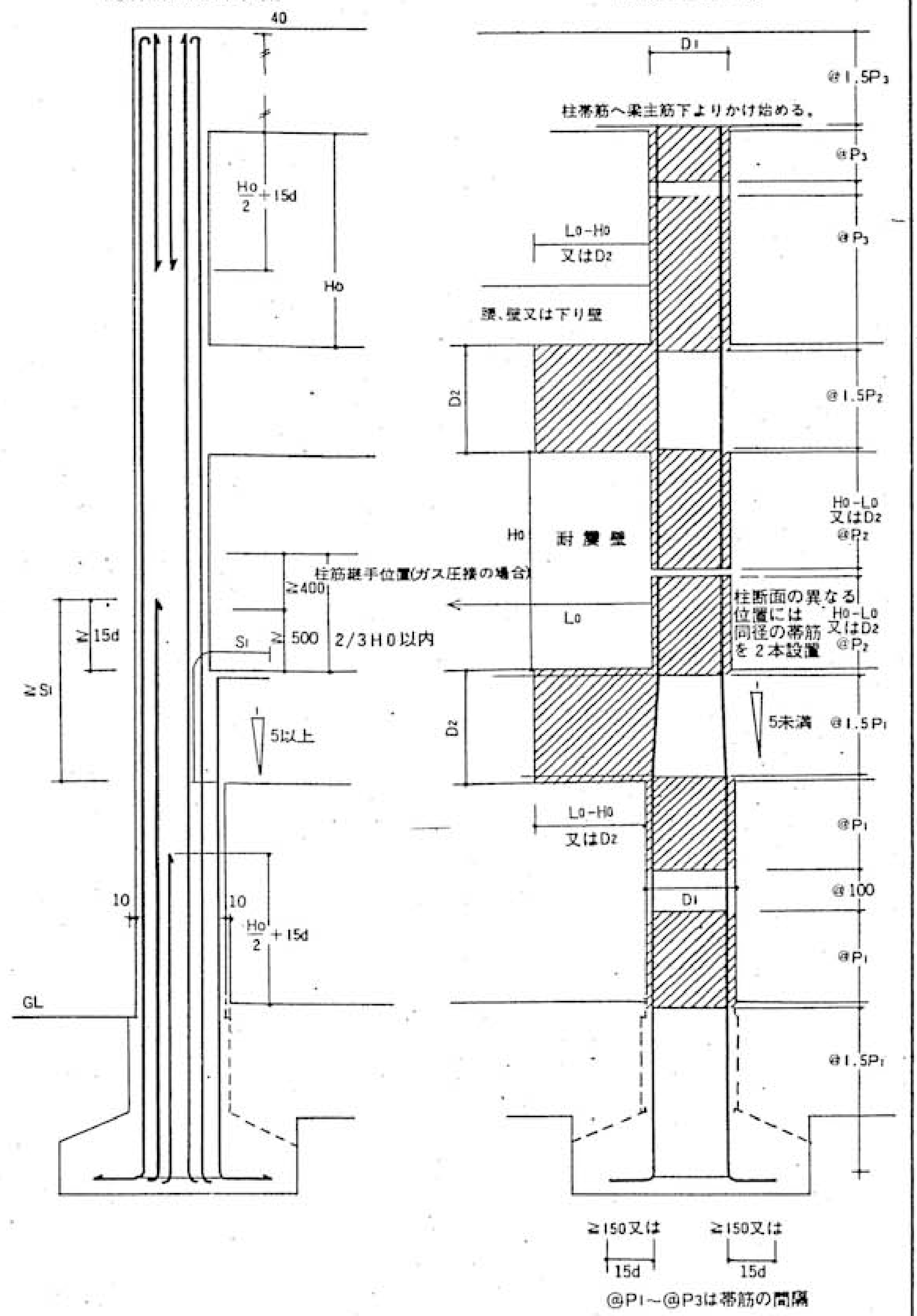
1-5 鉄筋の間隔



a ：1.7dかつ25mm以上（異形鉄筋）
a ：1.5dかつ25mm以上（丸鋼）
タバネ筋の場合は鉄筋コンクリート構造計算規準17条-3による。

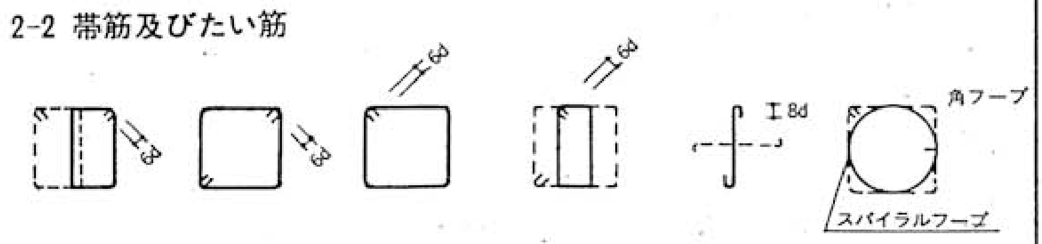
2.柱

2-1 定着長さ、継手位置、帯筋及びたい筋

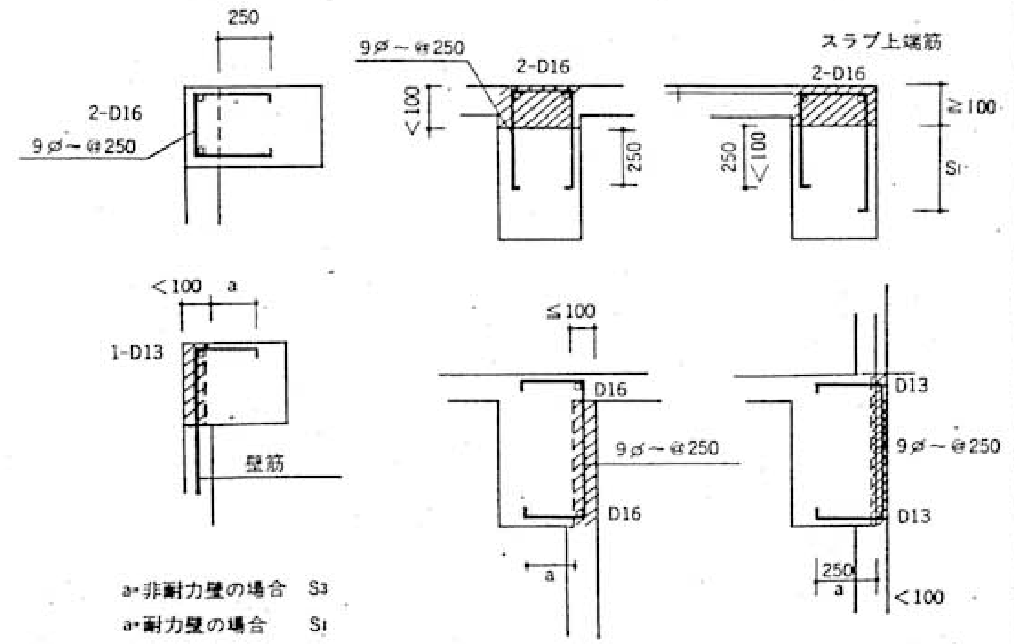

定着長さ、継手位置
帯筋及びたい筋
柱断面へ梁主筋下よりかけ始める。
Ho/2
Ho
Lo
H6
耐震壁
柱断面位置ガス圧接の場合
柱断面の異なる位置には固径の帯筋を2本設置
≧400
500
2/3H0以内
5以上
≧15d
10
GL
@1.5P3
@P3
@1.5P2
Ho-Lo 又はD2 @P2
@1.5P1
@P1
@100
@1.5P1
≧150又は 15d
@P1～@P3は帯筋の間隔

注1.主筋D19以上はガス圧接とする。（又は特記による）
2.帯筋の規定は延面積壁率30㎠/㎡以上又は柱壁率10kg/㎠以下のものについて示す。（他は特記による）
3.延面積壁率：1方向壁断面積/延面積
4.柱壁率 ：柱断面積＋1方向壁断面積/建物の重量

2-2 帯筋及びたい筋


6d
8d
角フープ
スパイラルフープ

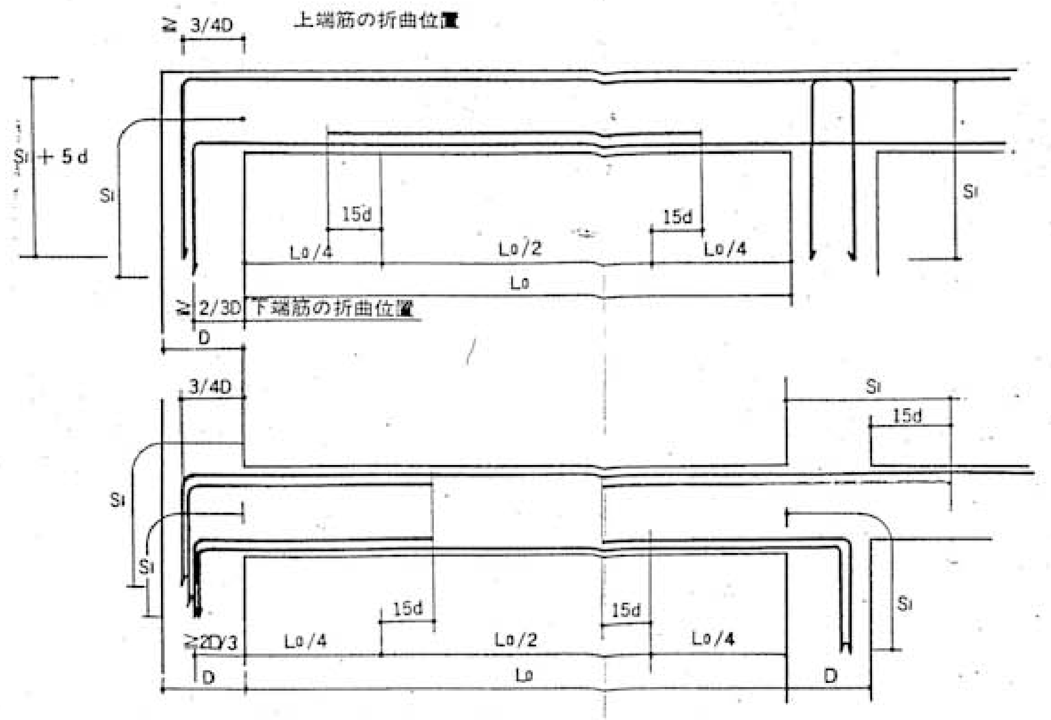
2-3 増打コンクリートの要領


250
2-D16
9φ～@250
スラブ上端筋
<100
≧100
1-D13
壁筋
D16
D13
a
<100

a=非耐力壁の場合 S3
a=耐力壁の場合 S1

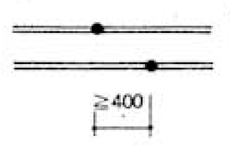
3.大 ば り

3-1 継手位置及び定着長さ


≧3/4D
上端筋の折曲位置
下端筋の折曲位置
15d
Lo/4
Lo/2
Lo
≧2D/3
D
S1

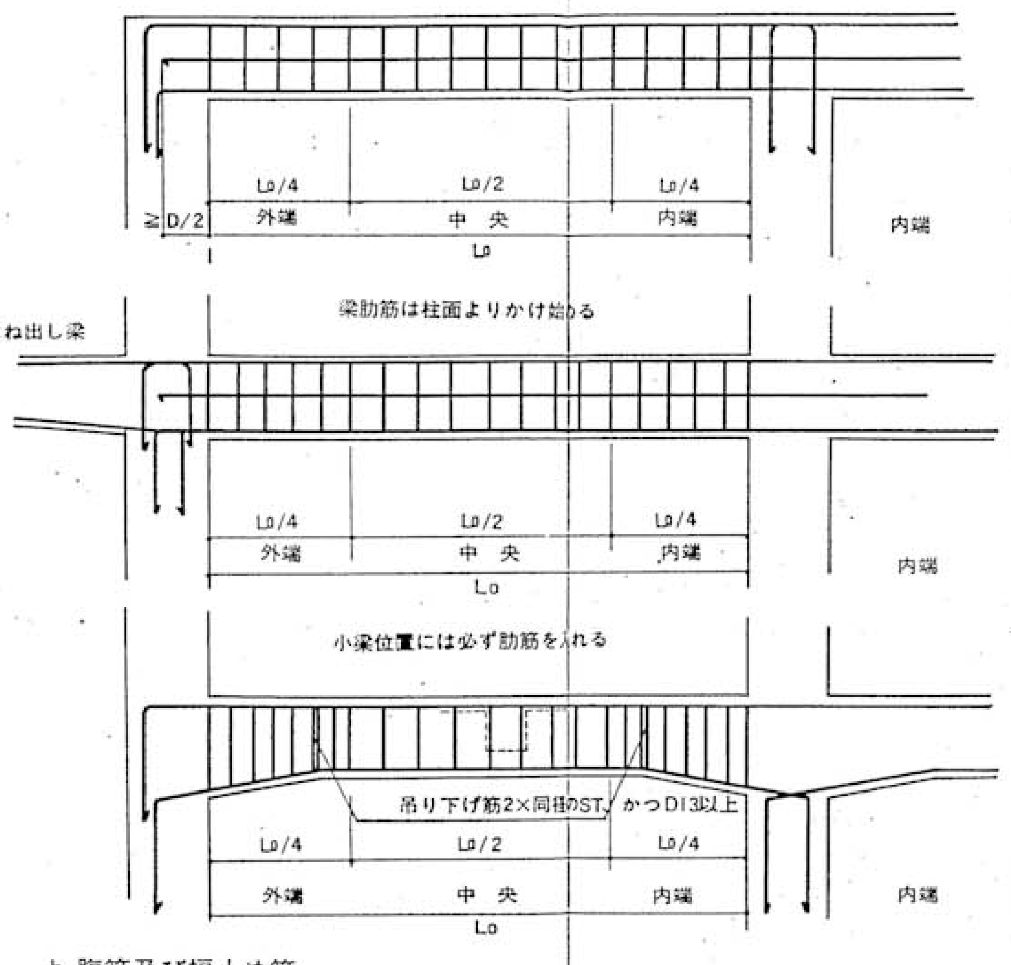
最上階の上端筋は半数以上かつ2本以上必ず柱内に定着する。
主筋D19以上は原則としてガス圧接とする。
継手中心は下記による。

上端筋 Lo/4<断手<3/4Lo
中央Lo/2以内
下端筋 端部<断手<Lo/4

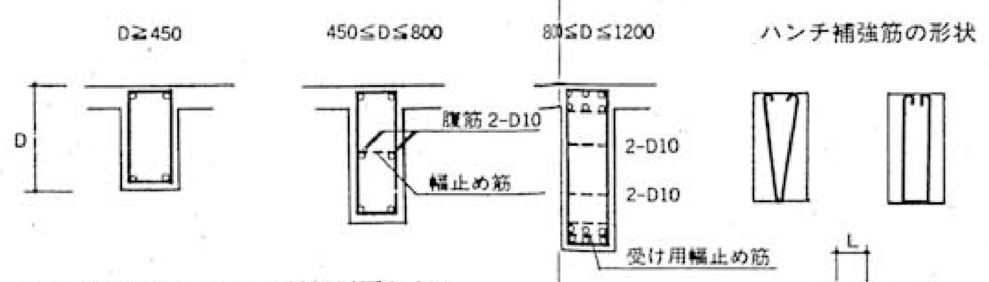

ふくらみ 1.4d
偏 心 0.2d
≧400

3-2 あばら筋及び幅止め筋

a.あばら筋の割付け

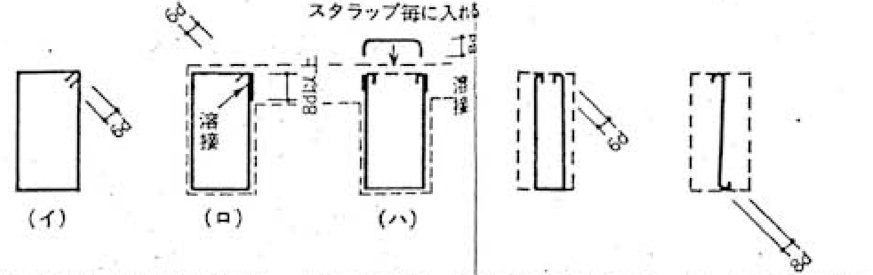

Lo/4
Lo/2
外端
中央
内端
Lo
≧D/2
梁筋は柱面よりかけ始める
はね出し梁
小梁位置には必ず肋筋を入れる
吊り下げ筋2×同径@ST.かつD10以上

b.腹筋及び幅止め筋


D≧450
450≦D≦800
800≦D≦1200
ハンチ補強筋の形状
腹筋 2-D10
幅止め筋
2-D10
受け用幅止め筋
L=溶接長サ70mm
16mm使用の場合

注1.幅止め筋は9φ～@1000以下とする。
2.受け用幅止め筋は9φ～@1000以下とする。

c.あばら筋の形状

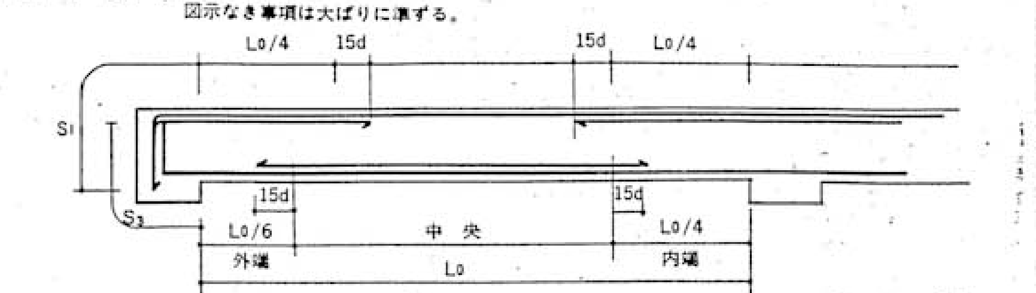

スタラップ毎に入れる
溶接
（イ）
（ロ）
（ハ）

肋筋の形は（イ）を原則とする。但しL形梁ハ（ロ）T形梁の場合は（ハ）とすることが出来る。
フックは全テ交互に設置の事。（溶接は特記による）

4.小ばり及び片持ばり

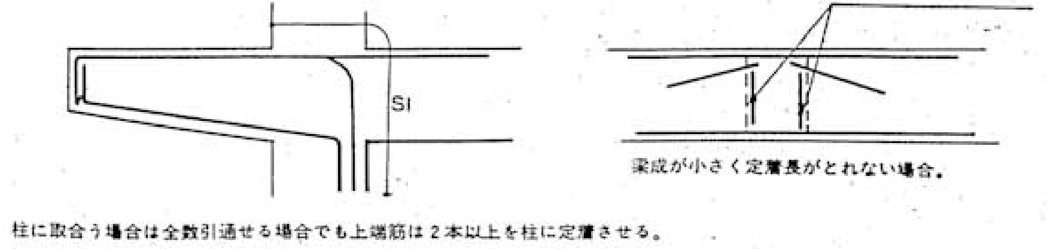
4-1 小 ば り

図示なき事項は大ばりに準ずる。


Lo/4
15d
S1
S3
Lo/6
中 央
外端
内端
Lo

4-2 片持ばり

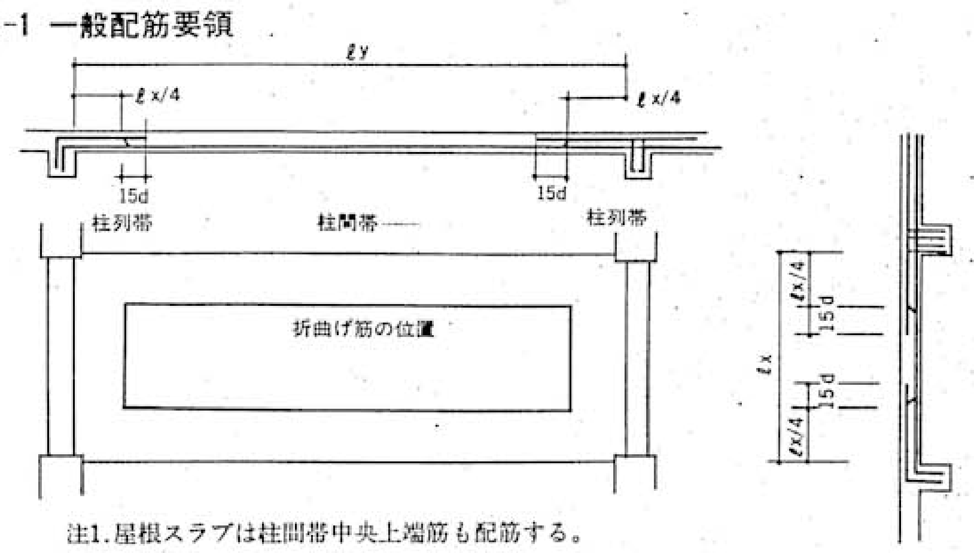
図示なき事項は大ばりに準ずる。
上端筋先端の定着長さは、はり成よりかぶり厚さを除いた長さとする。


S1
必ず肋筋を入れる。
梁成が小さく定着長がとれない場合。

柱に取合う場合は全数引通せる場合でも上端筋は2本以上を柱に定着させる。

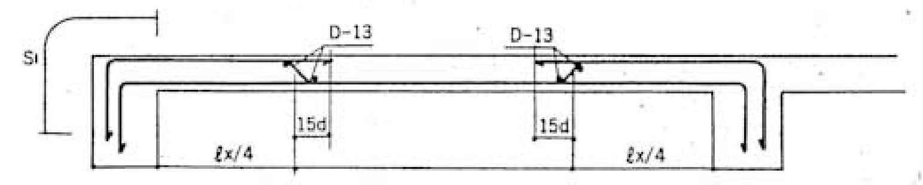
5.床 ス ラ ブ

5-1 一般配筋要領

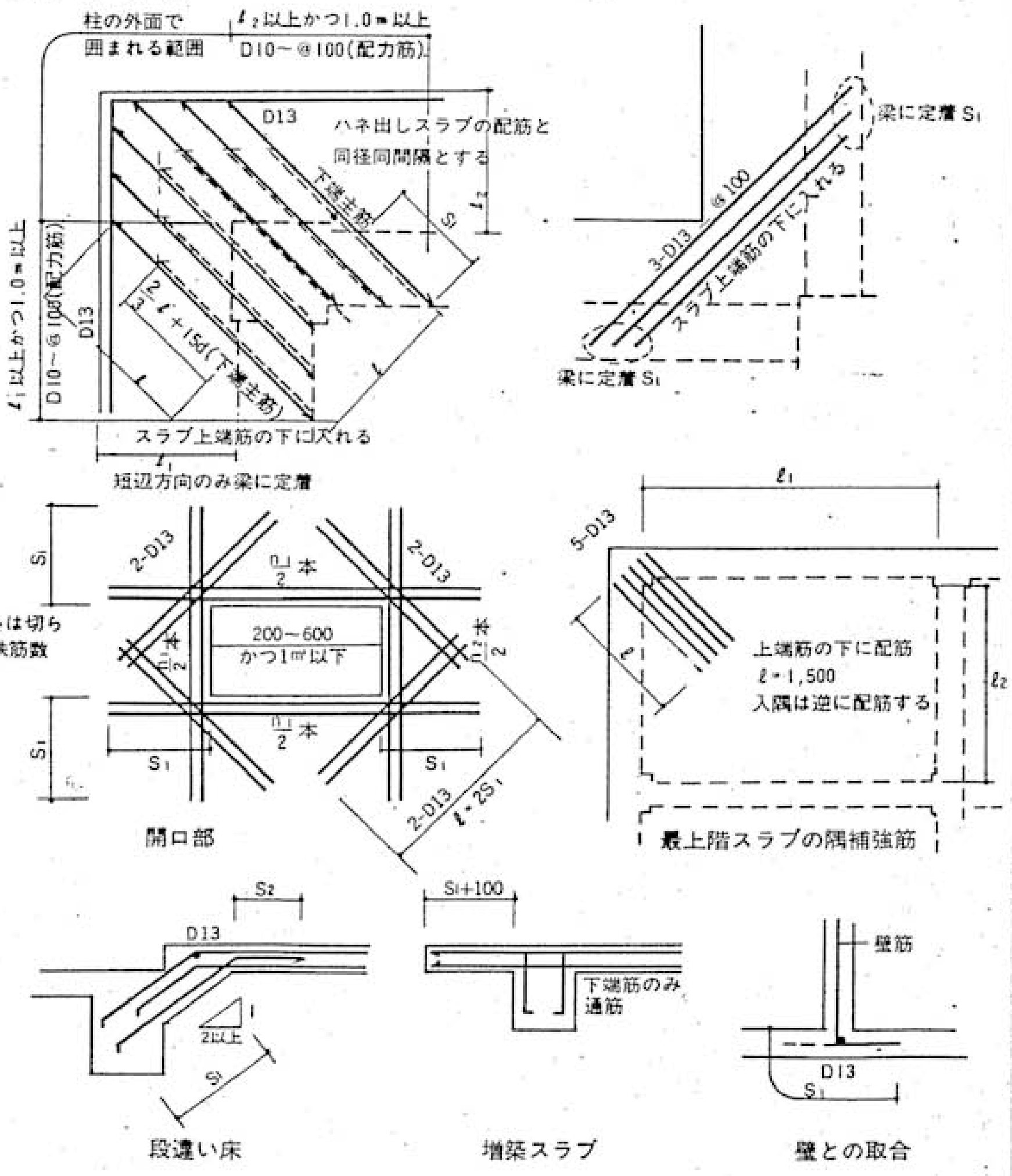

ℓy
ℓx/4
15d
柱列帯
柱間帯
折曲げ筋の位置
ℓx

注1.屋根スラブは柱間帯中央上端筋も配筋する。
2.隣接する2つの床スラブの端部筋は同一配筋の場合は連結し異なる場合は原則として梁内に定着する。

5-2 定着長さ


S1
D-13
15d
ℓx/4

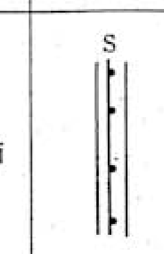
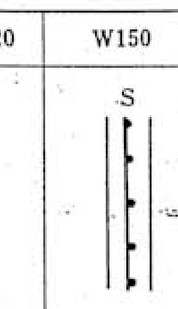
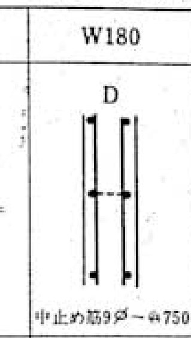
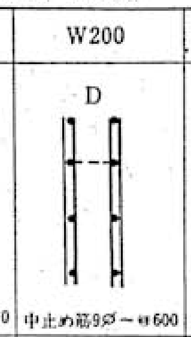
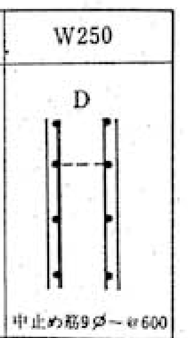
5-3 補強筋

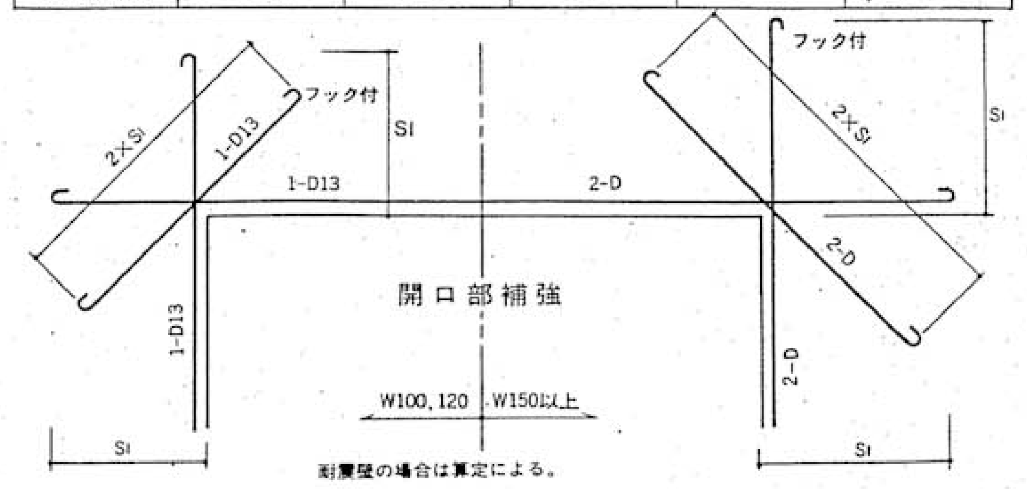

柱の外面で囲まれる範囲
ℓ2以上かつ1.0m以上 D10～@100（配力筋）
D13
ハネ出しスラブの配筋と同径同間隔とする
下端主筋
ℓ1以上かつ1.0m以上 D10～@100（配力筋）
スラブ上端筋の下に入れる
短辺方向のみ梁に定着
3-D13 @100
スラブ上端筋の下に入れる
梁に定着 S1
2-D13
n1/2本
200～600 かつ1㎡以下
n1、n2は切られる鉄筋数
ℓ=2S1
開口部
5-D13
上端筋の下に配筋
ℓ=1,500
入隅は逆に配筋する
最上階スラブの隅補強筋
S2
D13
2以上
段違い床
S1+100
下端筋のみ通筋
増築スラブ
壁筋
壁との取合

6.コンクリート壁

6-1 配筋リスト

Sはシングル、Dはダブル配筋

種 別	W100,120	W150	W180	W200	W250
断 面	S 	S 	D  中止め筋9φ～@750	D  中止め筋9φ～@600	D  中止め筋9φ～@600
竪 筋	D10～@200	D10～@150	D10～@250	D10～@200	D10～@200
横 筋	〃	〃	〃	〃	〃
開口部補強	1-D13	2-D13	2-D16	2-D16	2-D19


フック付
2×S1
1-D13
S1
2-D
開口部補強
W100,120
W150以上

耐震壁の場合は算定による。
たて筋・横筋のいずれか1方を柱又は梁に定着させる。

7.コンクリートブロック帳壁

7-1 壁 厚

帳壁の種類		壁厚（cm） (1)一般壁	壁厚（cm） (2)小壁帳壁
間仕切壁		12* かつℓ1/25	12 かつℓ2/15
外壁	(イ)地盤面からの高さ11m以下の部分	15* かつℓ1/25	15** かつℓ2/15
	(ロ)地盤面からの高さ11mを超える部分	15 かつℓ1/20	15 かつℓ2/10

＊地盤面からの高さ11m以下の部分にあっては10とする事が出来る。
＊＊平家建の建物または最下階の外壁にあっては12とする事がある。
ℓ1：主要支点間の距離
ℓ2：ブロック積部分の持放し長さ

7-2 補強筋

帳壁の種類		主筋 ℓ1≦2.3m 呼名	主筋 ℓ1≦2.3m 間隔cm	主筋 2.3m<ℓ1≦3.5m 呼名	主筋 2.3m<ℓ1≦3.5m 間隔cm	配力筋 呼名	配力筋 間隔cm
間仕切壁		D10以上	80以下	D10以上	80以下	D10以上	80以下
外壁	(イ)地盤面からの高さ11m以下の部分	D10 〃	80 〃	D10 〃	80 〃	D10 〃	80 〃
	(ロ)地盤面からの高さ11mを超え31m以下の部分	D10 〃	80 〃	D10 〃	80 〃	D10 〃	80 〃

主筋とは主要支点間方向の鉄筋をいう。
配筋力とは主筋と直角方向の鉄筋をいう。
ℓ1は主要支点間の距離をいう。丸鋼を使用する場合はD10を9φと読みかえる。

帳壁の種類		主筋 S≦1.1mの部分 呼名	主筋 S≦1.1mの部分 間隔cm	主筋 1.1m<S≦2.0m 呼名	主筋 1.1m<S≦2.0m 間隔cm	配力筋 呼名	配力筋 間隔cm
間仕切壁		D10以上	80以下	D10以上	40以下*	D10以上	80以下
外壁	(イ)地盤面からの高さ11.0m以下の部分	D10 〃	80 〃	D10 〃	40 〃	D10 〃	80 〃
	(ロ)地盤面からの高さ11mを超え31m以下の部分	D10 〃	40 〃	D13 〃	40 〃	D10 〃	60 〃

＊平家建又は最下階で15cm厚のブロックを使用する場合は80とする事が出来る。
主筋とは持放し方向の鉄筋をいう。
配力筋とは主筋と直角方向の鉄筋をいう。
Sは持放し端より測った距離をいう。
丸鋼を使用する場合はD10を9φ、D13を13φと読みかえる。
ブロック帳壁の主筋は溶接又はそれと同等以上の接合方法による場合を除き継手を設けてはならない。

持放し端部及び開口部の周囲はD13（又は13φ）以上の鉄筋で補強しなければならない。
定着長さはS1以上とする。定着長さが十分とれない時は異形丸鋼ともフックをつけて端部補強筋にかぎ掛けする。

8.杭 頭 処 理

※基礎リスト参照

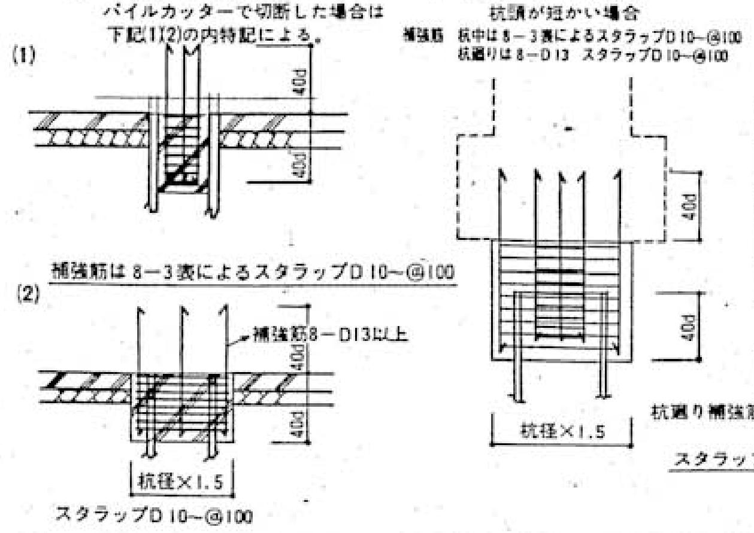
8-1 はつりあり

パイルカッターで切断した場合は
下記1(2)の内特記による。

8-2 はつりなし

杭頭が短かい場合

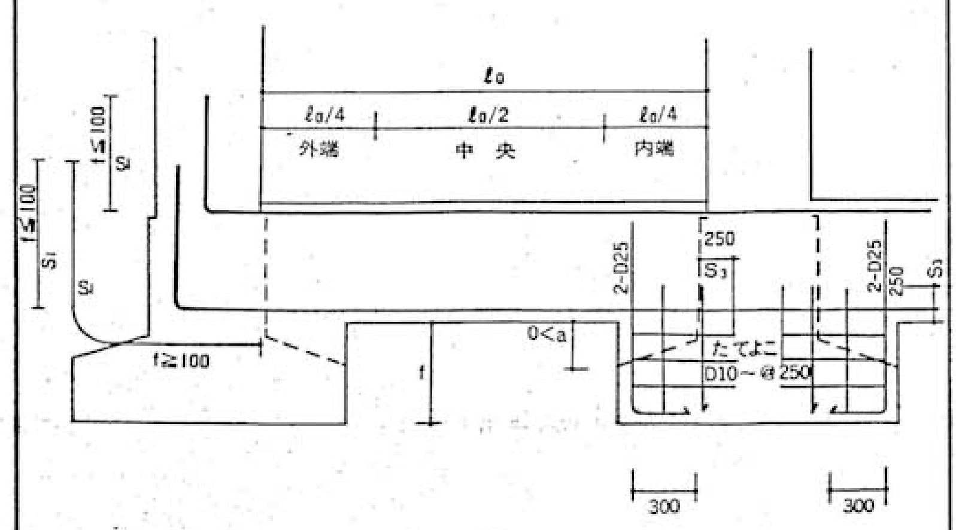
補強筋 杭中は8－3表によるスタラップD10～@100
杭廻りは8－D13 スタラップD10～@100


(1)
40d
補強筋は8－3表によるスタラップD10～@100
(2)
補強筋8－D13以上
杭径×1.5
スタラップD10～@100
杭廻り補強筋8－D13
スタラップD10～@100

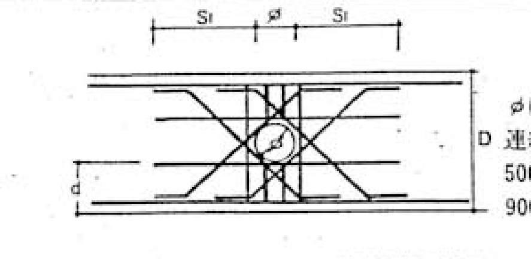
8-3 補強筋

杭 径	補強筋（本）
250φ	6本
300φ	6本
350φ	8本
400φ	8本
450φ	12本
500φ	12本

9.基礎ばり及びフーチング基礎


ℓo
ℓo/4
ℓo/2
外端
中央
内端
≧100
S1
ℓ≧100
2-D25
250
S3
0<a
たてこ
D10～@250
300

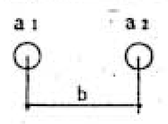
10.はり貫通部の補強



φはD/4以下とする。
連続する貫通孔のピッチはb≧3φ以上
500<D<900ではd≧200
900≦Dではd≧250

補強筋は特記による。

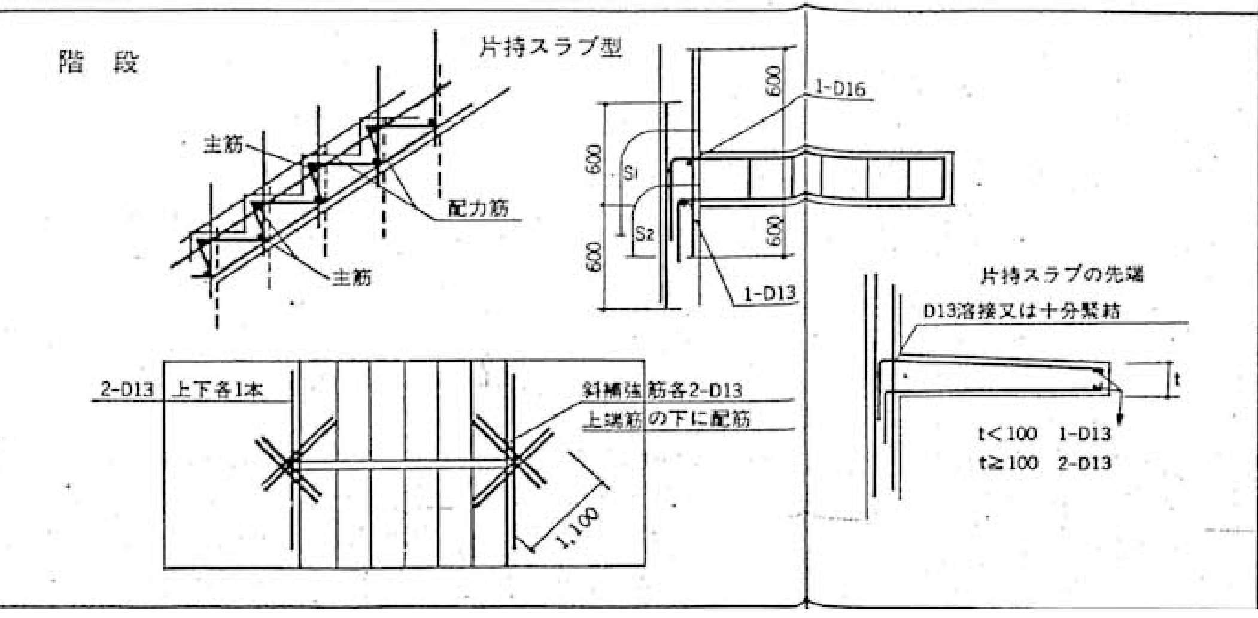
	竪	横	斜	上下スタラップ
100<φ<200	4-D13	4-D13	8-D13	9φ～@100以下



$b \geqq \frac{3}{2}(a_1+a_2)$

梁貫通スリーブの間隔

11.そ の 他


階 段
片持スラブ型
主筋
配力筋
1-D16
1-D13
600
2-D13
上下各1本
片持スラブの先端
D13溶接又は十分緊結
斜補強筋各2-D13
上端筋の下に配筋
t<100 1-D13
t≧100 2-D13
1,100

12.使 用 材 料

12-1 杭

杭 種	杭径(mm)	杭長(m)	本 数	地耐力t/本
PHCパイル.	400Φ	7M. 9M.	58	41.0

12-2 コンクリート

普通コンクリート FC.210　　土間コンクリート FC.150
軽量コンクリート　　犬走りコンクリート

12-3 鉄 筋

丸鋼
異形鉄筋 SD30

鴨川市立吉尾小学校屋内運動場改築工事設計図
縮尺

真建築設計事務所
〒296 鴨川市広場1306－12
電話 鴨川（ ）1236
設計 一級建築士 久保浩敏
第106297号

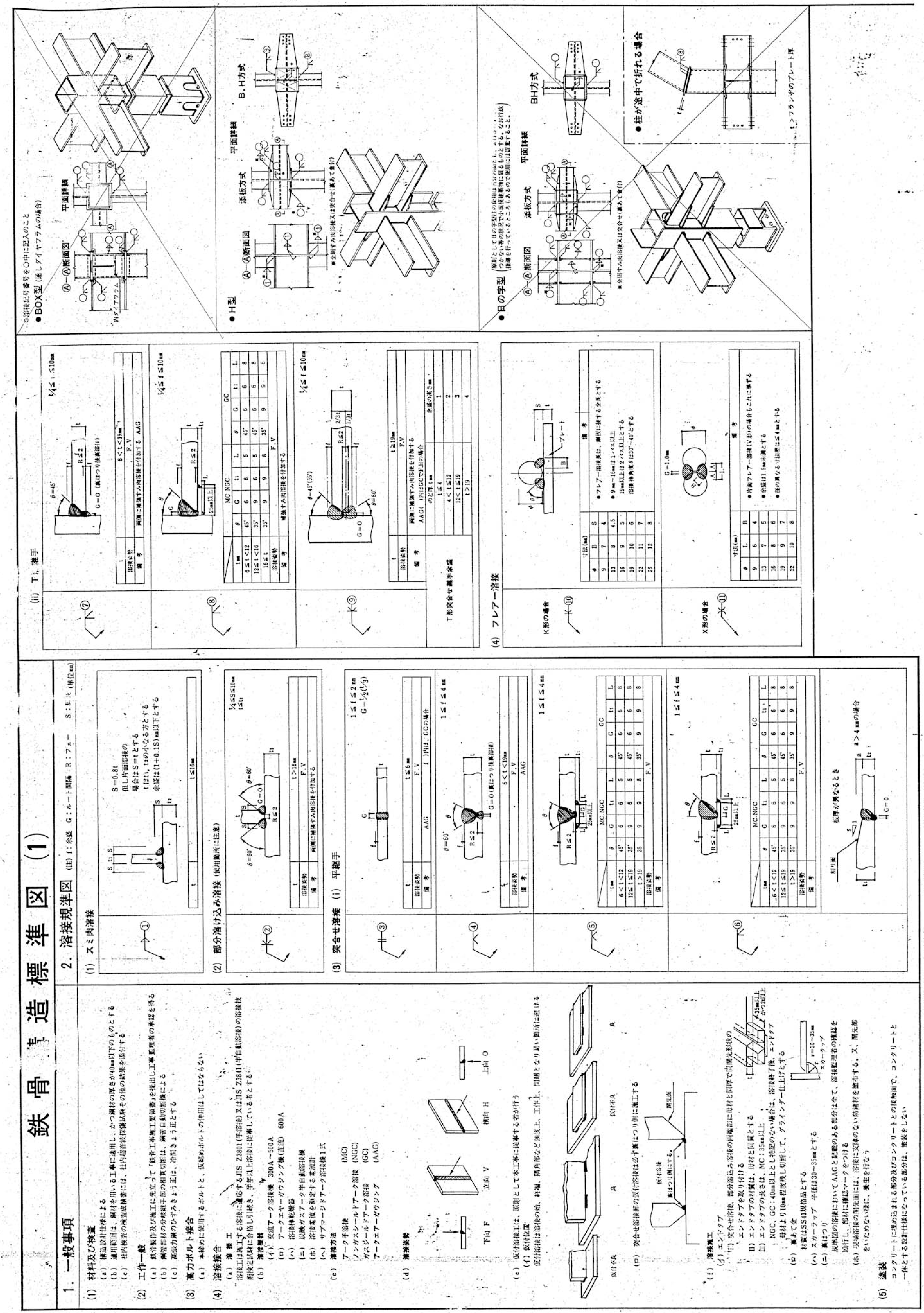
図面番号
26

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第1-2301-7840号
TEL 04(7093)7116 FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

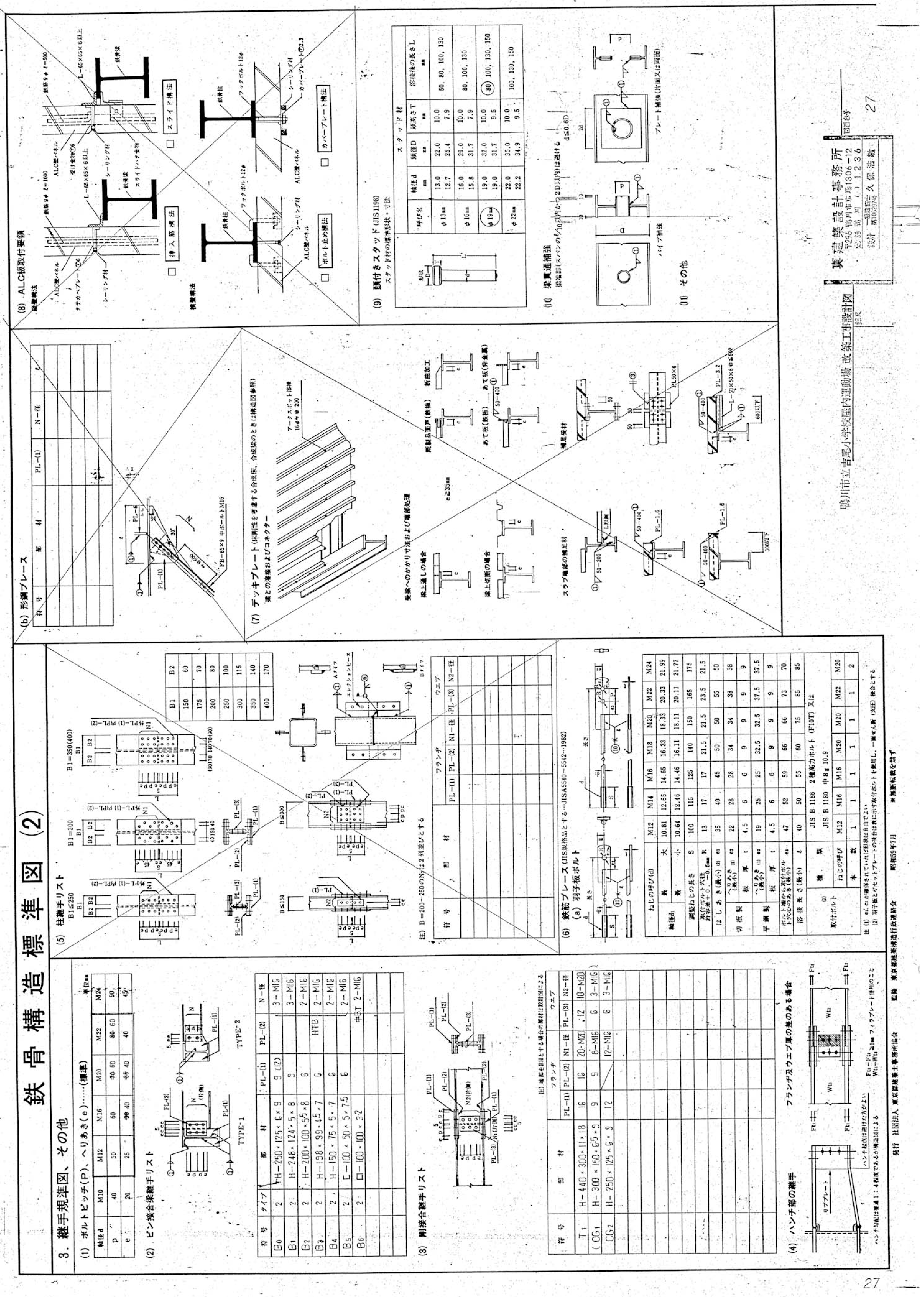
Title
旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

配筋標準図

No. S－01



鉄骨構造標準図 (1)
1. 一般事項
2. 溶接規準図
●BOX型
●H型
●日の字型
(4) フレアー溶接



鉄骨構造標準図 (2)
3. 継手規準図、その他
(6) 形鋼ブレース
(7) デッキプレート
(8) ALC板取付要領
(9) 頭付きスタッド
(10) 貫通補強
(11) その他
東建築設計事務所
鴨川市立吉尾小学校屋内運動場 改築工事設計図
27

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所

〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事 第1-2301-7840号

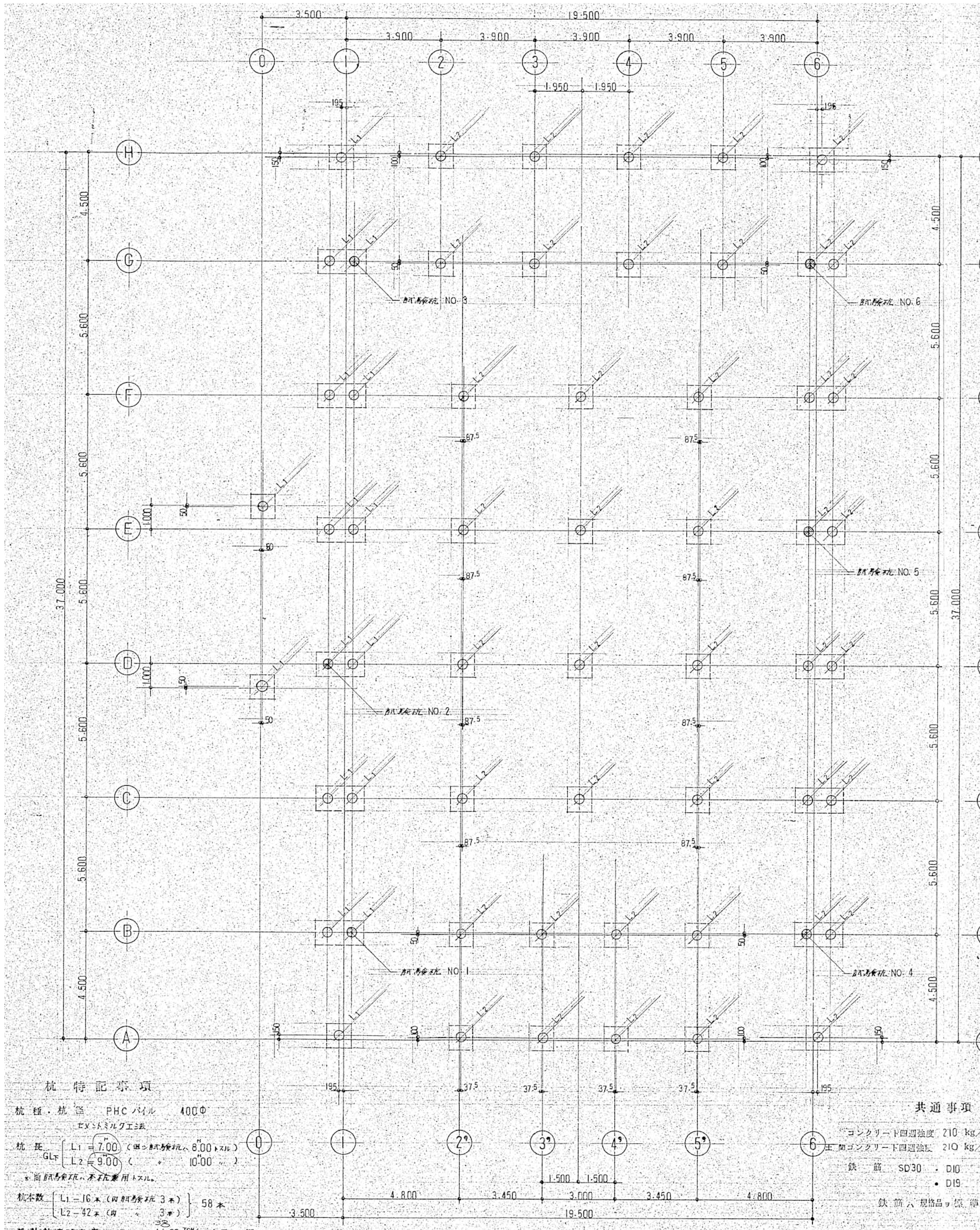
TEL 04(7093)7116 FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

Title

旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

鉄骨標準図

No. S-02


3.500
19.500
3.900
1.950
0
1
2
3
4
5
6
H
G
F
E
D
C
B
A
4.500
5.600
37.000
L1
L2
試験杭 NO. 1
試験杭 NO. 2
試験杭 NO. 3
試験杭 NO. 4
試験杭 NO. 5
試験杭 NO. 6
195
150
100
50
87.5
37.5
1.000
2'
3'
4'
5'
4.800
3.450
3.000
1.500

杭 特 記 事 項

杭種・杭径　PHC パイル　400Φ

セメントミルク工法

杭長 GL下 ［L1 = 7.00（但シ試験杭ハ 8.00 トスル）
　　　　　 ［L2 = 9.00（　〃　10.00 〃）

※尚試験杭ハ本杭兼用トスル。

杭本数 ［L1 − 16 本（内試験杭 3 本）
　　　 ［L2 − 42 本（内　〃　3 本）｝58 本

設計杭支持力度　Ra = ~~41.00~~ 38 TON/本（長　期）

共 通 事 項

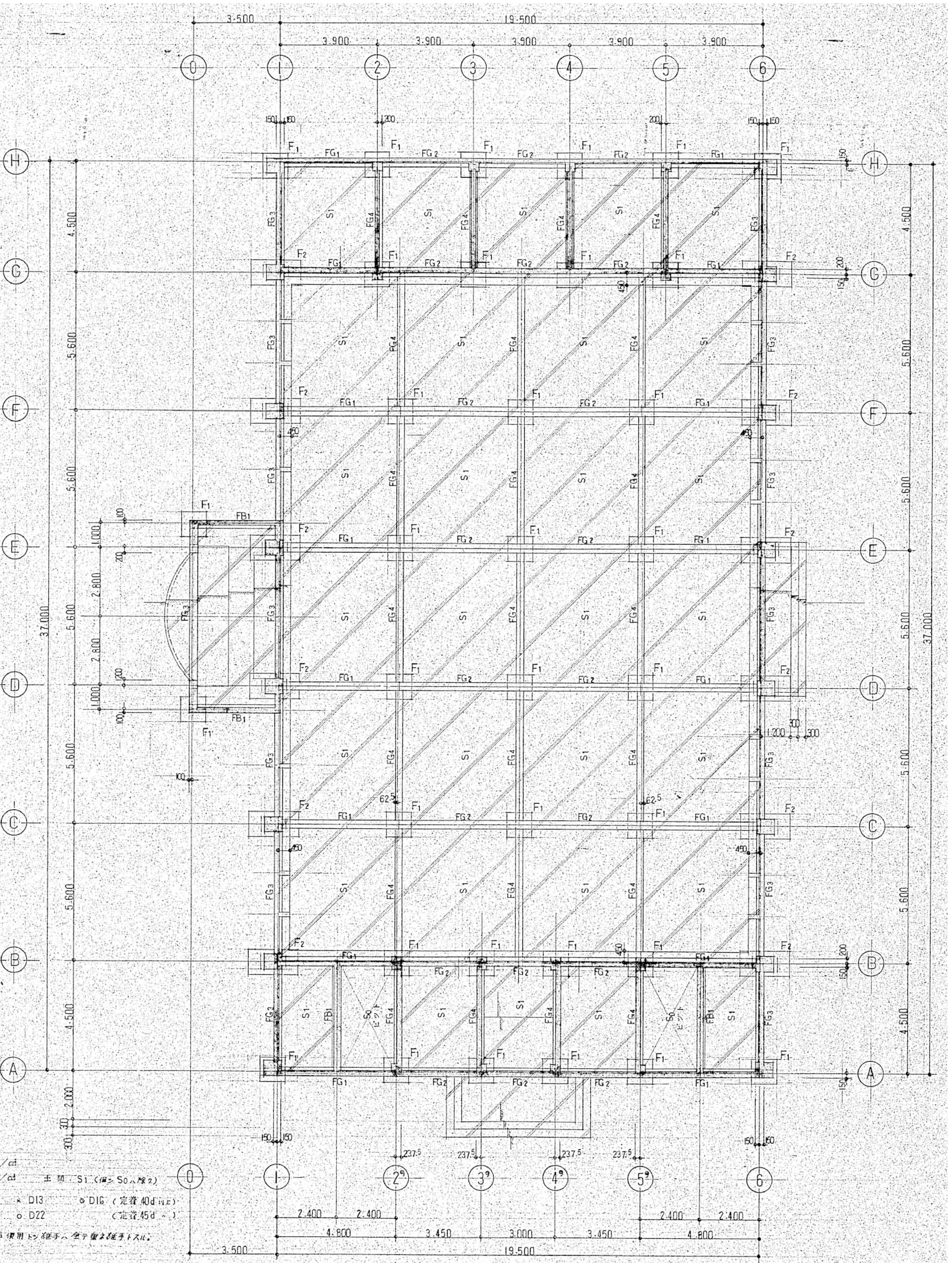
コンクリート四週強度　210 kg/㎠

土間コンクリート四週強度　210 kg/㎠　　土間 S1（但シ S0 ハ除ク）

鉄筋　SD30　・ D10　× D13　○ D16（定着 40d 以上）
　　　　　　● D19　○ D22　（定着 45d 〃）

鉄筋ハ規格品ヲ標準使用トシ継手ハ全テ重ネ継手トスル。

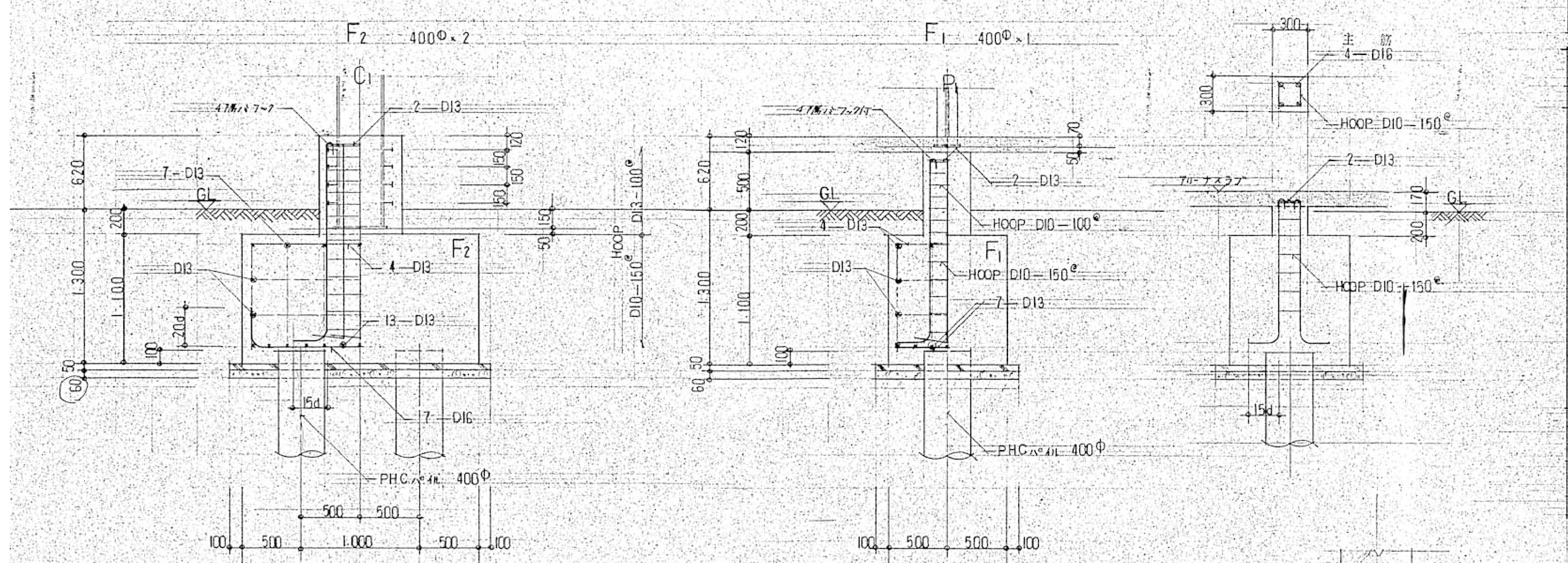
杭 伏 図　1:100

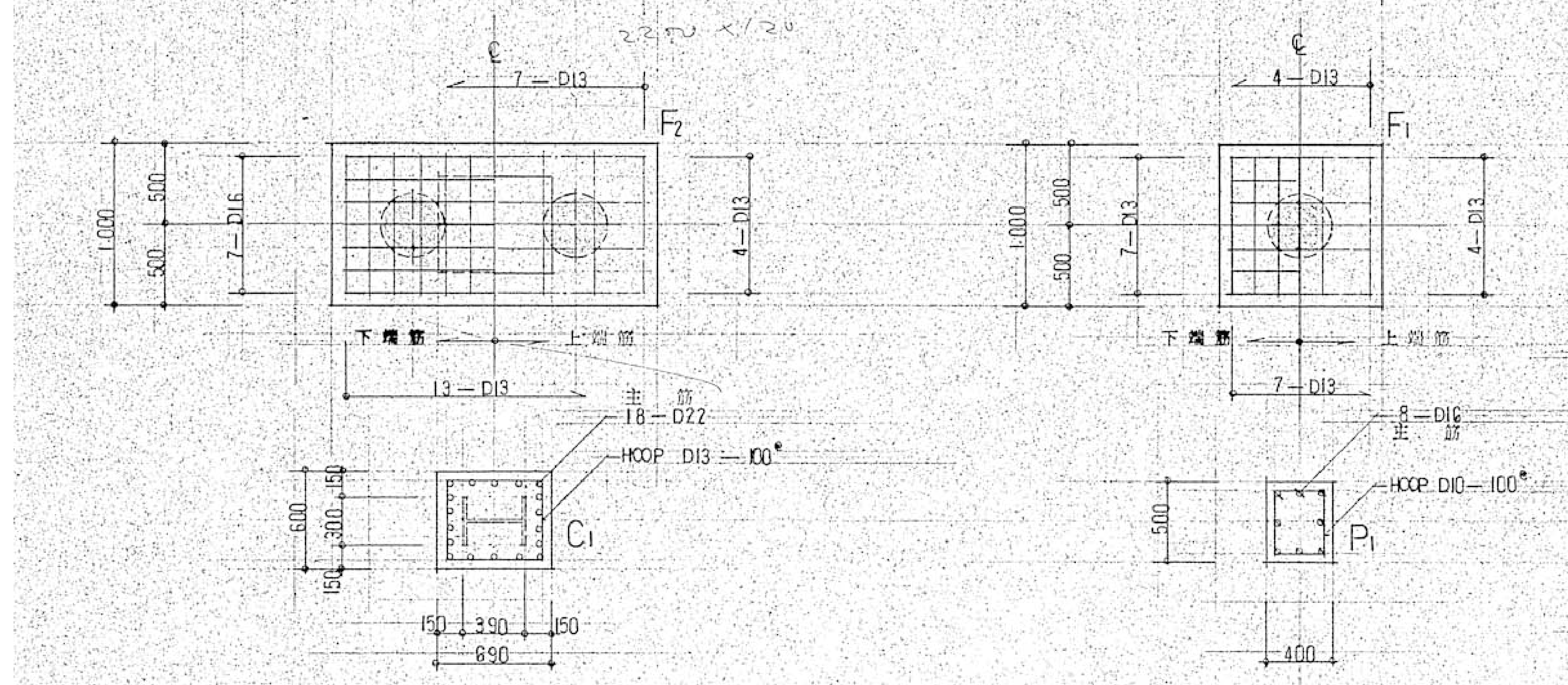

3.500
19.500
3.900
0
1
2
3
4
5
6
H
G
F
E
D
C
B
A
F1
F2
FG1
FG2
FG3
FG4
FB1
S1
S0
4.500
5.600
37.000
2.800
1.000
2.000
300
150
200
62.5
450
237.5
2'
3'
4'
5'
2.400
4.800
3.450
3.000

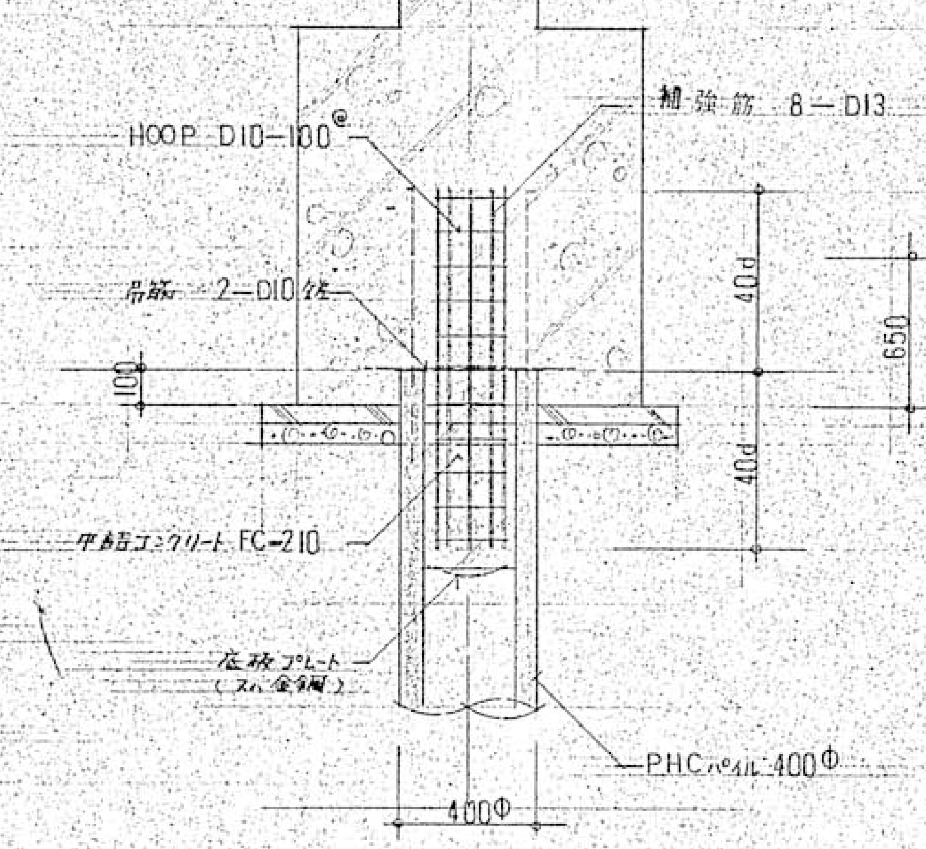
基 礎 伏 図　1:100

株式会社 濱田建築事務所 1級建築士事務所	〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10 E-mail info@hamada1.jp 千葉県知事登録 第1-2301-7840号	TEL 04(7093)7116　FAX 04(7093)6501 WEB http://hamada1.jp/ 1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志	Title 旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図	杭伏図・基礎伏図 S=1/100	No. S - 03

基礎・柱脚リスト 1:30


F2 400Φ×2
C1
2−D13
7−D13
GL
D13
4−D13
13−D13
7−D16
PHCパイル 400Φ
F1 400Φ×1
HOOP D10−100@
HOOP D10−150@
7−D13
4−D13
主筋 4−D16
HOOP D10−150@
2−D13
100 500 1,000 500 100
2,000
100 500 500 100
1,000

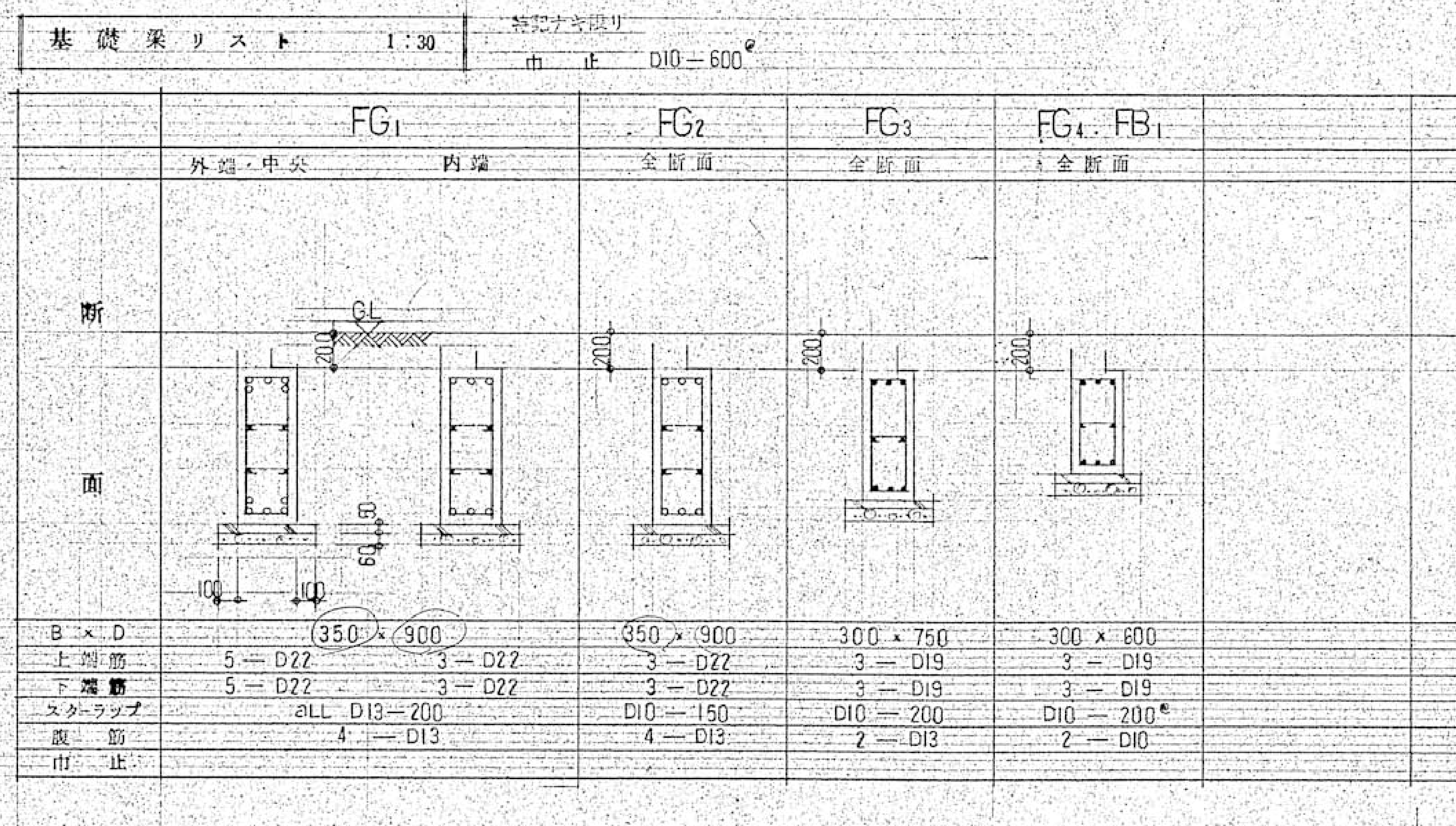

F2
7−D13
7−D16
4−D13
下端筋
上端筋
13−D13
主筋 18−D22
HOOP D13−100@
C1
150 390 150
690
F1
4−D13
7−D13
下端筋
上端筋
7−D13
主筋 8−D16
HOOP D10−100@
P1
400


HOOP D10−100@
補強筋 8−D13
40d
PHCパイル 400Φ
400Φ

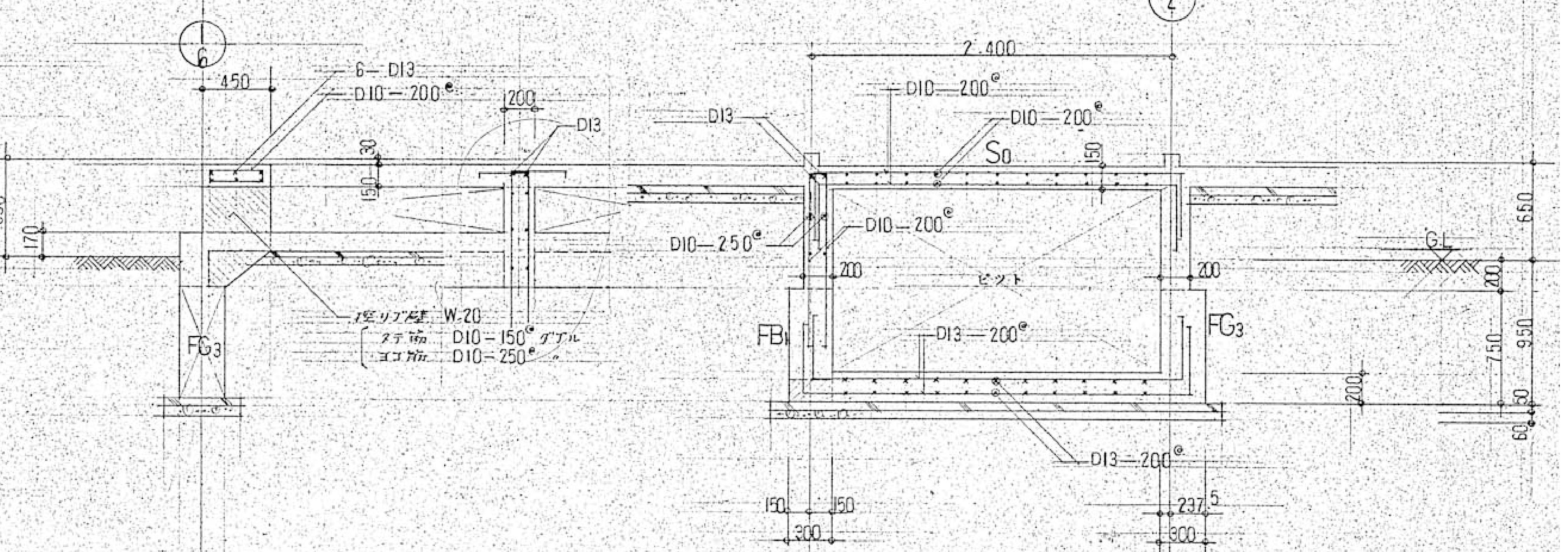
杭頭部補強筋要領図 1:20

基礎梁リスト 1:30

特記ナキ限リ
巾止 D10−600@

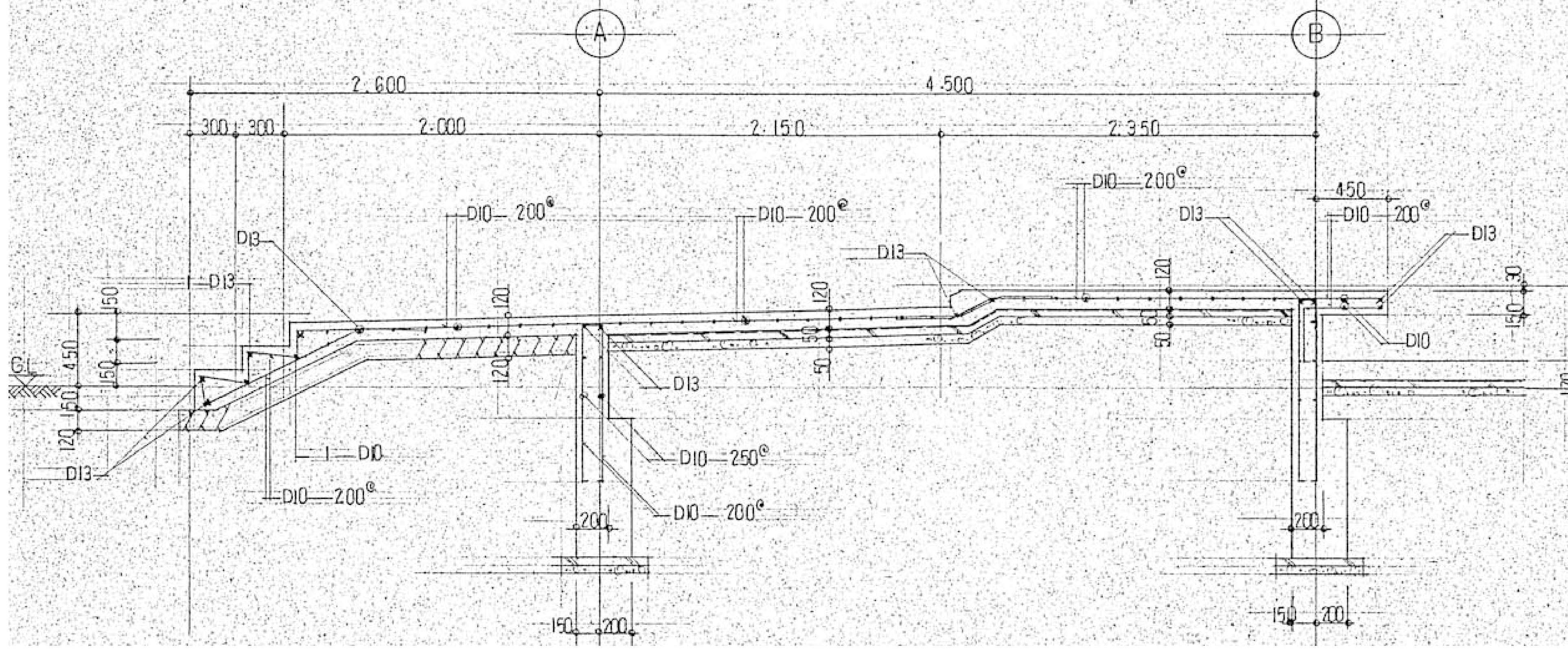


	FG1		FG2	FG3	FG4・FB1		
	外端・中央	内端	全断面	全断面	全断面		
断面							
B × D	350 × 900		350 × 900	300 × 750	300 × 600		
上端筋	5 − D22	3 − D22	3 − D22	3 − D19	3 − D19		
下端筋	5 − D22	3 − D22	3 − D22	3 − D19	3 − D19		
スターラップ	aLL D13−200		D10 − 150	D10 − 200	D10 − 200@		
腹筋	4 − D13		4 − D13	2 − D13	2 − D10		
巾止							

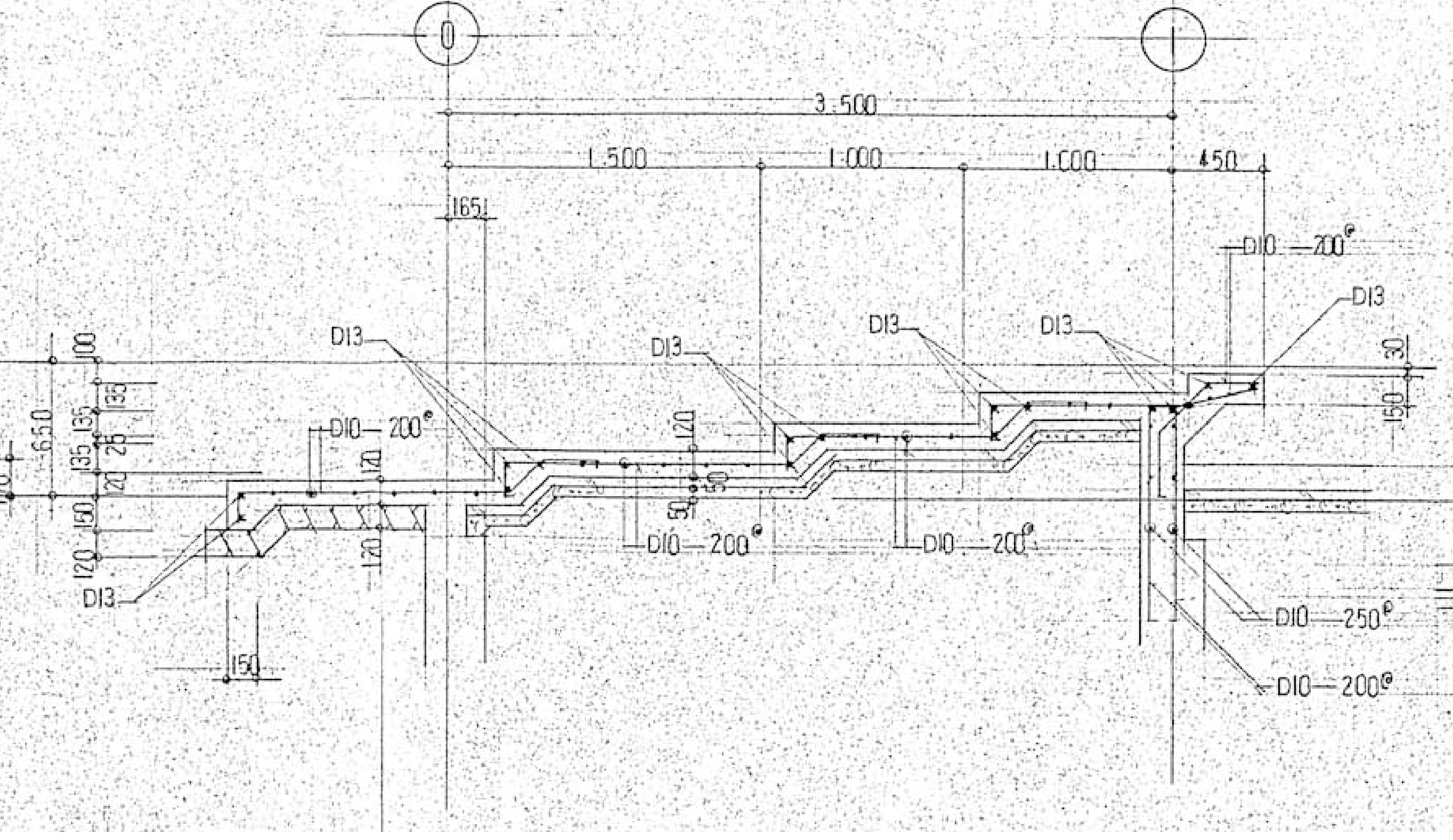

6
450
6−D13
D10−200@
D13
FG3
2,400
D10−200@
S0
D10−250@
ピット
FB1
FG3
D13−200@
GL
150 150
300

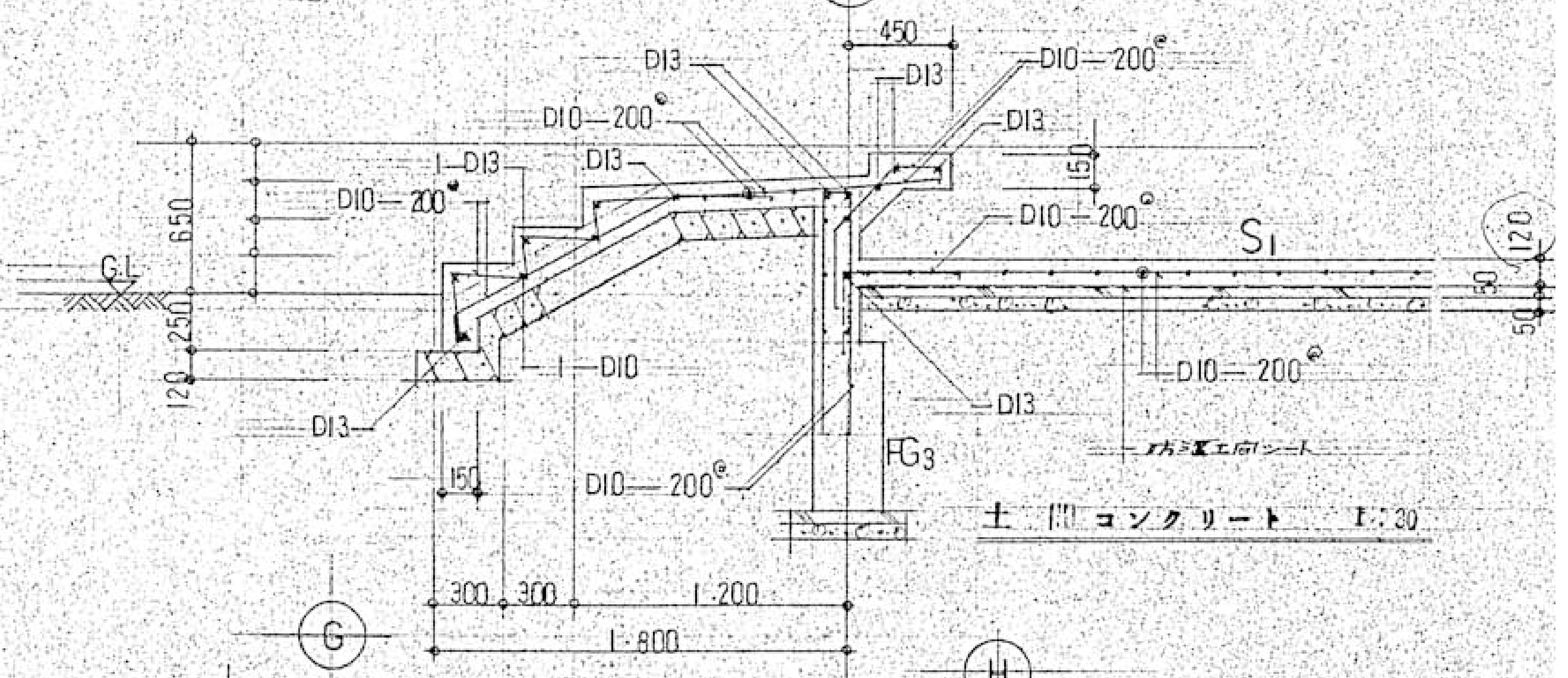
便所ピット断面配筋詳細図 1:30

玄関ホール 断面配筋詳細図 1:30

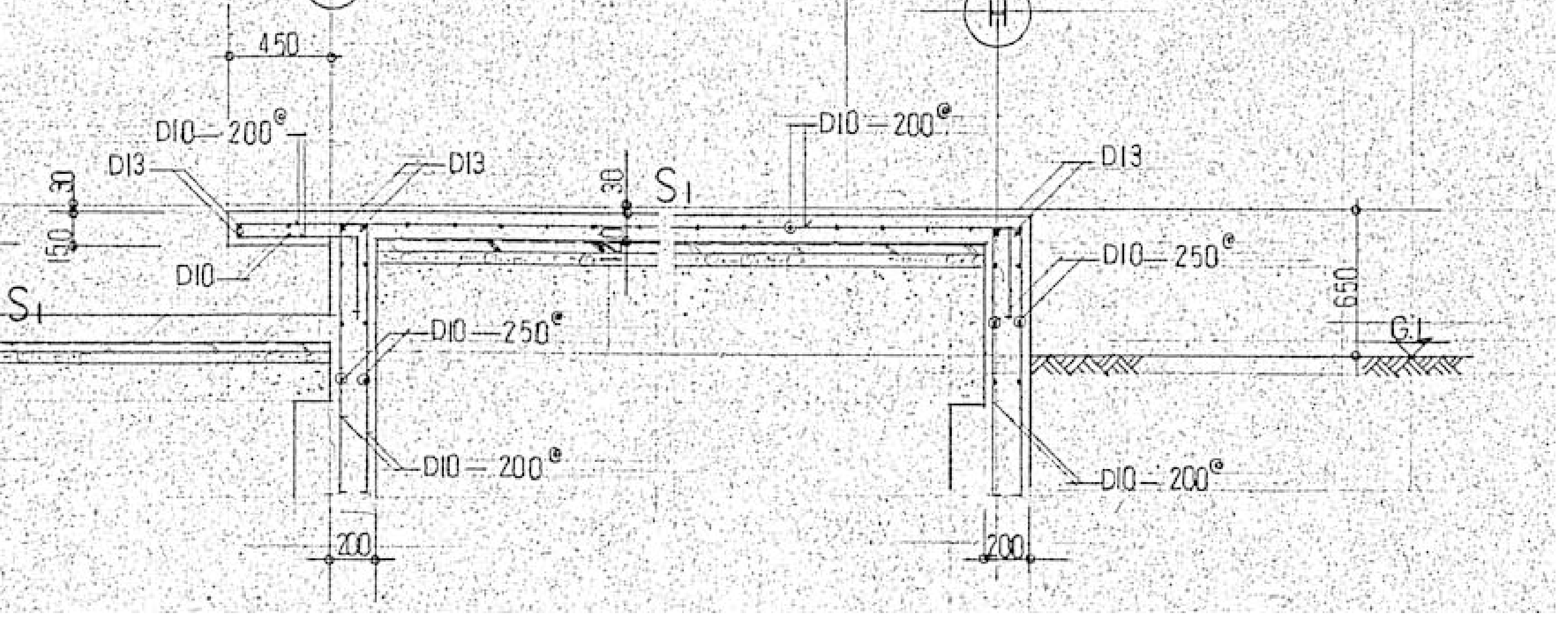

A
B
2,600
4,500
300 300 2,000 2,150 2,350
450
D10−200@
D13
D10−250@
D10−200@

昇降口 断面配筋詳細図 1:30


0
I
3,500
1,500 1,000 1,000 450
D13
D10−200@
D10−250@
D10−200@


6
450
D10−200@
D13
S1
GL
FG3
D10−200@
300 300 1,200
1,800

土間コンクリート 1:30


G
H
450
D10−200@
D13
S1
D10−250@
D10−200@
GL

株式会社 濱田建築事務所
1級建築士事務所
〒296-0034 千葉県鴨川市滑谷289-10
E-mail info@hamada1.jp
千葉県知事登録 第1-2301-7840号
TEL 04(7093)7116 FAX 04(7093)6501
WEB http://hamada1.jp/
1級建築士 第-284900-号 濱田 卓志

Title
旧吉尾小学校屋内運動場解体工事設計図

基礎・基礎梁リスト S=1/30

No. S－04